

# 令和4年度 政策推進部の運営方針

部	政策推進部	部長	市川 信行
監	小林 一裕 (総合政策監)	監	小林 聡 (危機管理監)

## 【基本方針】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策に関する企画、調整に加えて、市民への情報発信や市民からの情報提供を受けるとともに、施策を実行する職員の人事管理、防災対策などを所管しています。

全国的な少子高齢化、人口減少や地方経済の衰退などの課題に対して、にぎわいと活力ある市であり続けるために、市民との協働や公民連携した取組による行政運営や多様な広報媒体を活用した情報発信と収集に努めてまいります。

また、危機管理につきましては、それぞれの市民が、お住まいの地域の災害リスクを適切に理解し、迅速な避難行動をとることができるよう、「総合防災マップ」の改訂に取り組むとともに、災害に備えた防災体制の整備や防災行動力の向上及び指定避難所の機能強化に努めてまいります。また、地域防災の要である消防団の充実強化として、本部から各消防団への指揮系統の確保や円滑な情報収集を行えるよう、デジタル簡易無線の配備を行います。

## 【重点目標】

1	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和4年度 達成状況
	まちの魅力や暮らしに関する情報を、広報かしわら、柏原市ウェブサイト、SNSなど、多様な媒体を活用し発信していきます。					B
2	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	大学及び民間との連携による事業の推進					A
3	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	職員の能力向上					B
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	総合防災マップの改訂					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	消防団を中核とした地域防災力の充実強化					A
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	指定避難所の機能強化					A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 1	まちの魅力や暮らしに関する情報を、広報かしわら、柏原市ウェブサイト、SNSなど、多様な媒体を活用し発信していきます。
--------	--

今年度の達成目標
広報誌やウェブサイト、SNSなどを活用して、柏原市の情報をできるだけ分かりやすく正確に、市内外に発信することで、まちの魅力の向上に貢献します。

達成状況	達成度
柏原市公式LINEを再開し、リニューアルしたことで、柏原市の情報を届ける手段が一つ増え、より多くの市内外の方に市の施策や観光情報を届けることができるようになりました。	B 概ね達成

具体的取組	
新しくLINEによる市政情報の発信を始めるなど、各種媒体を活用してより幅広く情報発信に努めます。	
所管室・課	秘書広報課

具体的な取組実績
柏原市公式LINEを再開し、毎週末に行われるイベントの告知や市政情報、柏原市を取り上げたテレビ放送のお知らせを発信するなど、これまでの広報誌やウェブサイトなどに加えて新しい情報発信の媒体を増やしました。

総合評価・総括
柏原市公式LINEを再開したことで、市政情報を発信できる手段が増え、より多くの方に柏原市の魅力を発信できるようになり、シティプロモーションと市への愛着の醸成に役立ったと考えられます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
情報の受け取り手の満足度を向上させるため、柏原市のどのような情報を必要としているのかを把握していきたいと考えます。また、SNSの認知度を上げていかなければならないので、SNSのPR活動も必要です。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 2	大学及び民間との連携による事業の推進
--------	--------------------

今年度の達成目標
大学及び民間企業との連携による目指すまちに向けた取組を進めます。

達成状況	達成度
大学連携では、学生の提案からの事業実施が行われ、民間企業連携では企業版ふるさと納税の活用が行われるなど、目標としていた大学、民間企業双方との連携による取組が進みました。	A 達成

具体的取組	
大学との連携による、学生の地域資源を活用した取組への参画	
所管室・課	企画調整課
具体的取組	
民間企業の力を活用した取組の充実	
所管室・課	企画調整課

具体的な取組実績
大阪教育大学の多文化フィールドワークの授業において、大和川河川敷空間のオープン化に伴う活用提案を検討し、うちウォーターサバゲーを第2回ロハスパーク大阪柏原にて実施しました。また、同大学の安全科学研究法の授業では、健康づくり課と協働で健康ウォーキング手帳のリニューアルをフィールドワークも含めて実施しました。
具体的な取組実績
包括連携協定を締結している第一生命保険株式会社から企業版ふるさと納税を受け、健康ウォーキング手帳のリニューアルを行うことができたほか、リニューアル作業への協力も受けました。また、他に1件の企業版ふるさと納税を受けることができました。

総合評価・総括
今年度は大学、民間企業の両方において連携した取組が充実したことから、今年度の目標とする部分は達成しました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
大学との連携事業については、今後も複数年度継続した事業とする継続性の確保が必要であると考えています。また、民間企業との連携や企業版ふるさと納税については、既存メニューでの連携拡充に加えて、新たに市として課題となっている部分での連携事業を作り上げていくことが必要であると考えています。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 3	職員の能力向上
--------	---------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
質の高い市民サービスを提供できるよう、職員ひとりひとりの能力向上を図る研修を実施します。	階層ごとに必要なスキルの習得を図ることができました。また、法律研修の実施により法律の知識を身につけるとともに、コンプライアンス意識の向上を図ることができました。	B 概ね達成

具体的取組	
階層別研修(新採、中堅職員、管理職員)をはじめ、課題に応じた研修を実施します。	
所管室・課	人事課

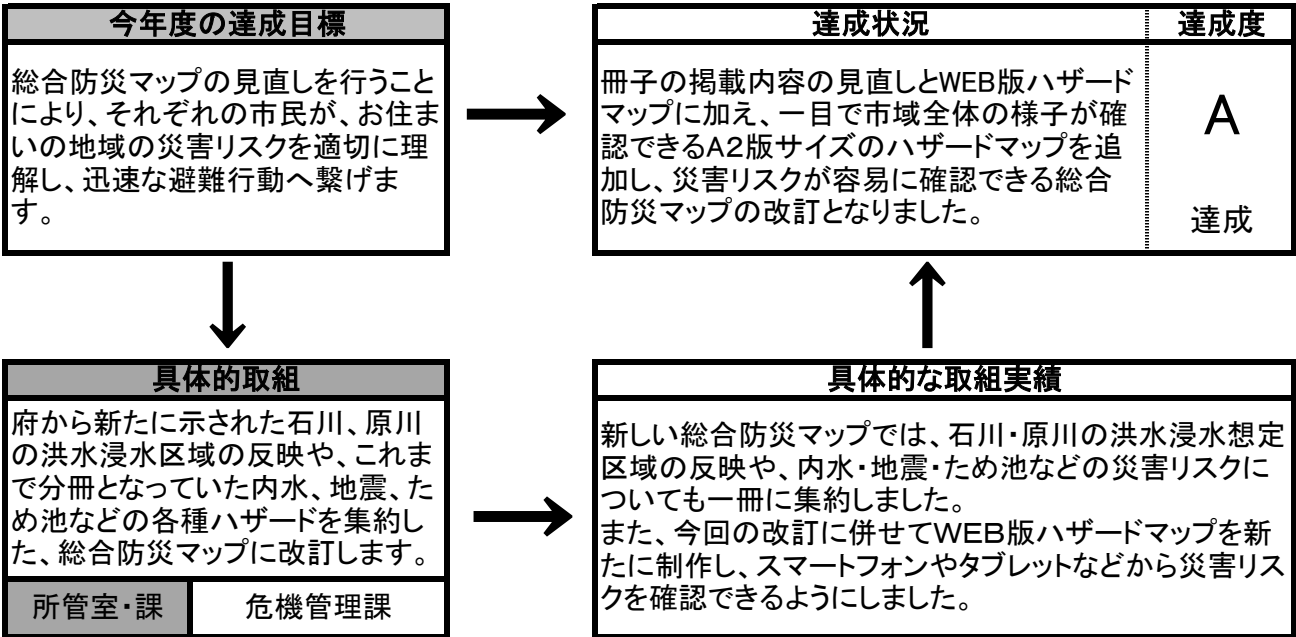
具体的な取組実績
新採、若手・中堅職員、管理職員といった階層別研修の実施に加え、令和4年度の新たな取組として勤続年数に応じた法律研修を初級・中級・上級の計3回実施しました。

総合評価・総括	全体の達成度
市政運営にあたって必要な知識の取得やスキルの向上に資する研修を実施することができました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
令和4年度から実施した法律研修を継続的に実施できるよう実施方法や内容のブラッシュアップを行います。また、時勢に応じた課題を研修テーマとできるよう、調査研究を継続します。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 4	総合防災マップの改訂
--------	------------



総合評価・総括	全体の達成度
今回の改訂により、新たな災害リスクの掲載や、防災情報に関する啓発ページなど、掲載内容の大幅な見直しを行いました。この総合防災マップをより多くの方に確認していただくためWEB版ハザードマップの閲覧サービスについても新たに開始することができました。また、A2版ハザードマップも作成し、一目で市域全体の災害リスクが確認できる総合防災マップとなりました。	A 達成

今後検討すべきこと
石川・原川の洪水浸水想定が新たに示されたことから、浸水のおそれがある地域の避難判断や、的確な避難情報の発信について見直しを行います。市民が安全な場所へ避難できる時間を確保するため、柏原市地域防災計画や避難情報の判断・伝達マニュアルへ反映させるなど、市が実施する災害対策について検討を行っていきます。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 5	消防団を中核とした地域防災力の充実強化
--------	---------------------

今年度の達成目標
市民の安全確保を図るため、消防団の災害対応力を強化します。



達成状況	達成度
消防団活動に必要な資機材を計画通り更新するとともに、チェーンソーやエンジンカッターの取扱いなど、大規模災害を想定した災害対応演習を行いました。	A 達成

今年度の達成目標
消防団と地域が連携することにより、地域防災力の向上を図ります。



達成状況	達成度
コロナ禍の影響もありましたが、訓練内容の変更や開催規模の縮小など、必要な感染症対策を行いながら、地域と連携して自主防災訓練を行いました。	A 達成



具体的取組
デジタル簡易無線の配備及び消防用ホースの更新を行い、災害対応体制を強化します。



具体的な取組実績
デジタル簡易無線機25台の配備と消防用ホース23本の更新を行いました。デジタル簡易無線機の整備により、消防団本部、消防団詰所、災害現場における通信体制を構築することができました。

所管室・課	危機管理課
具体的取組	
地域自主防災訓練に消防団が参加し、地域住民に災害対応技術の指導・啓発を行います。	



具体的な取組実績
消火器の取扱いや応急手当に係る指導・啓発に加え、地域と連携して避難所開設訓練を行うなど、6地区25町会で開催された自主防災訓練に参加しました。



総合評価・総括
資機材の整備や各種訓練を繰り返し行うことにより、消防団の災害対応力を強化することができました。地域防災力を高めていくためには、消防団と地域との連携が最も重要であることから、コロナ禍の影響により防災活動を自粛している地域へ活動の再開を促すなど、地域に密着した取組を進めていきます。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
近年は、台風や線状降水帯など激甚化する風水害への対応もあり、消防団の活動がますます多様化する中、消防団活動を担う人材確保が急務となっています。そのため自主防災訓練の機会も活用して消防団員募集の呼びかけを行うなど、消防団の組織強化に努めていきます。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 6	指定避難所の機能強化
--------	------------

今年度の達成目標
避難所が停電した場合においても、運営を継続していきます。



達成状況	達成度
発電機及び投光器を配備したことにより、避難所が停電した際でも、夜間の照明や電源が確保でき、継続して避難所運営できる状態にしました。	A 達成

今年度の達成目標
避難所の感染症対策に取り組み、コロナ禍であっても開設・運営が円滑にできるよう、準備をすすめます。



達成状況	達成度
避難所において感染防止対策に必要となる備品の配備と、それらを活用した訓練を行うことで、円滑に避難所を開設・運営できる準備を整えました。	A 達成



具体的取組
指定避難所に発電機及び投光器を配備します。



具体的な取組実績
避難所における停電対策として、市内3カ所の指定避難所に発電機及び投光器を配備しました。

所管室・課	危機管理課
具体的取組	
指定避難所に段ボールベッドやルームテントなど感染症対策備品を配備します。	
所管室・課	危機管理課



具体的な取組実績
避難所における感染症対策として、市内3カ所の指定避難所に段ボールベッドやルームテント等を配備しました。また、地域の自主防災訓練や避難所運営演習において、これら備品の取扱い訓練を行いました。



総合評価・総括
避難所における感染症対策及び停電対策に必要となる備品を配備することにより、災害時に安心して避難していただけるよう、避難所の機能強化を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
避難所での物資備蓄を進めるためには、多くの収納スペースが必要となりますが、避難施設の管理者と協議を行いながら、引き続き拡充に努めていきます。また、備蓄していない物資についても、民間事業者との協定締結により、円滑に調達できる体制整備を進めていきます。

# 令和4年度 総務部の運営方針

部	総務部	部長	安田 善昭
監	西戸 浩詞(デジタル監)	理事	松井 俊之(公有財産マネジメント担当)

## 【基本方針】

総務部では、市が所有する情報資産のセキュリティ対策や職員が執務を行う上で基盤となる法務能力の向上を図る取組を行ってまいります。  
また、新型コロナウイルス感染症の対応として、非接触や密を避けることが推奨され、オンラインを取り入れた新しい生活様式が人々の間に広まってきたことから、デジタルトランスフォーメーションの取組を推進してまいります。  
さらに、新庁舎や公用車等について、効率的かつ適切な管理に努めるとともに、公共施設の再編整備事業に係る基本計画の策定を進めてまいります。

## 【重点目標】

1	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	職員の法務能力の向上					B
2	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	市民の利便性の向上や業務の効率性・生産性を高めるための自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組の推進					A
3	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	公共施設の最適化を図ること及び公有財産の有効活用に向けた取組の推進					B

## 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)



部(局)名	総務部
-------	-----

重点目標 1	職員の法務能力の向上
--------	------------

今年度の達成目標
行政事務を遂行する上で必要となる知識の習得を目指します。



達成状況	達成度
取組を通して、理解しておくべき法令の解釈や例規整備手法の習得に寄与することができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
行政事務を遂行する上で必要となる政策を形成するために必要な法務能力を習得することを目指します。



達成状況	達成度
取組を通して、発生が予測されうる業務上の諸問題について、円滑に解決する知識・技能の習得に寄与することができました。	B 概ね達成



具体的取組
主として経験年数が浅い職員を対象に、地方自治法を中心とした行政事務を執行する上で基礎となる知識の習得を目的とした法務研修を実施します。



具体的な取組実績
個人情報保護法の改正や例規システムの活用方法をテーマに、法制執務に関する基礎的な研修を実施しました。

所管室・課	総務課
具体的取組	
主として管理職を対象に、民法を中心とした行政事務の執行に必要な知識を習得することを目的とした法務研修を実施します。	



具体的な取組実績
業務を遂行する上で、正確な知識理解を求められる住民監査請求、債券管理、契約事務、労働問題に関して、テーマ別の法務研修を実施しました。



総合評価・総括
若手職員を対象とした基礎的な各種研修の実施によりボトムアップを行い、併せて管理職員を対象に、職務の遂行にあたって直面することが多い諸問題に関して、テーマ別研修を複数回に渡って実施することで、職員全体の法務能力の向上を図ることができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
基礎的な法務研修の継続実施により法務能力の浸透・定着を進めるとともに、応用研修では諸問題や法務トラブルの解決に向けて、最新のテーマや繰り返し取り上げるべきテーマを選定して、実践的な知識・スキルのブラッシュアップを行うなど、更なる法務能力の向上に取り組みます。

部(局)名	総務部
-------	-----

重点目標 2	市民の利便性の向上や業務の効率性・生産性を高めるための自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組の推進
--------	--

今年度の達成目標
国が進める行政手続きのオンライン化や電子申請ツールの導入及び運用を進めます。
今年度の達成目標
マイナンバーカード普及促進事業の実施により、マイナンバーカードのさらなる普及率の向上を目指します。

達成状況	達成度
今年度に導入予定であった行政手続きのオンライン化については、全て予定どおり運用を開始しています。また、電子申請ツールについても新たにWeb予約が可能になるなど、庁内各部署で運用を図りました。	A 達成
達成状況	達成度
具体的な取組などにより、令和4年3月末時点で45.0%であった交付率が、令和5年3月末時点で68.8%と23.8ポイント向上し、申請率では76.36%と政府のほぼ全国民に行き渡らせるとの目標には届かなかったものの、大幅な増となりました。	A 達成

具体的取組	
インターネットを使って市民が来庁しなくても手続きが出来るように、マイナンバーカードを用いて手続きが出来るシステムと、集団検診やアンケート等、マイナンバーカードがなくても出来る簡易なシステムの導入と運用を進めます。	
所管室・課	デジタル推進課
具体的取組	
国が行うマイナポイント事業第2弾の実施に合わせて、マイナポイントの予約・申込支援窓口を拡充します。また、カード交付申請に必要な無料写真撮影や休日における申請等の受付を引き続き実施します。	
所管室・課	デジタル推進課

具体的な取組実績
個人向けサイト「マイナポータル」からスマートフォンやインターネット等で、保育所や児童手当などの子育て関連や介護関連等の手続きをワンストップで申請できるサービスや、引越時に伴う転出入の手続きを同じく「マイナポータル」を利用して簡略化するサービスなど、行政手続きのオンライン化を進めました。また、電子申請ツールについても、市民アンケート調査、新たにかん検診の予約や亀の瀬トンネルのプロジョクシヨンマッピングの予約フォームなど、Webで申請手続きができるようになりました。
具体的な取組実績
平日の庁舎1階での申請受付窓口に加えて、毎月1回の休日開庁や9月からは出張申請受付なども実施した結果、マイナンバーカード申請用無料写真撮影を利用された方は令和4年4月から令和5年3月末までの累計で6,329名、マイナポイントの申込支援を利用された方は同じく令和4年4月から令和5年3月末までの累計で10,119名でした。

総合評価・総括
今年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の対応として、オンラインを取り入れた新しい生活様式が当たり前のようにならなりました。そのような中で、行政手続きのオンライン化、電子申請ツールの本格的な導入やマイナンバーカードの普及率を向上することができたことは、今後のデジタルを活用した市民サービスの向上につながる第一歩であり、次年度以降の自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進にもつながるものと考えています。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
今後は、アフターコロナにおける社会変化への対応により、DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用がこれまで以上に必要とされることから、市民の利便性の向上に加え、業務の効率性・生産性を高めるために、たくさんの方がデジタルの恩恵を受け入れられるような取組を引き続き進めます。

部(局)名	総務部
-------	-----

重点目標 3	公共施設の最適化を図ること及び公有財産の有効活用に向けた取組の推進
--------	-----------------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
柏原市公共施設等再編整備基本計画を策定します。	柏原市公共施設等再編検討委員会において、公共施設の再編整備方針を定め、再編整備(案)を取りまとめました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
公有財産活用検討基本方針に基づき、公有財産の有効活用を図ります。	当該財産のニーズ等が把握できました。	C 一部達成

具体的取組	具体的な取組実績
老朽化等が進む公共施設を抽出し、建替え・統廃合・複合化など再編整備について検討し、2箇年で計画策定に取り組みます。	アンケート調査等により、公共施設等の再編整備における市民ニーズを調査し、柏原市公共施設等再編検討委員会において種々検討しました。
所管室・課 公有財産マネジメント課	
具体的取組	具体的な取組実績
公有財産活用検討委員会を開催し、今後の方針について検討します。	公有財産のうち、庁内活用等に期待できないものを対象にサウンディング調査を実施しました。
所管室・課 公有財産マネジメント課	

総合評価・総括	全体の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等再編整備基本計画については、令和4年度中に再編整備方針を定め、再編整備(案)を取りまとめられたことは、順調と考えられます。</li> <li>公有財産の有効活用については、サウンディング調査を実施し、財産のニーズ等を把握できたものの、具体的な有効活用案までの決定に至りませんでした。</li> </ul>	B 概ね達成

今後検討すべきこと
公有財産の有効活用については、有効活用期待できない財産の売払い方法等を検討していきます。

# 令和4年度 財務部の運営方針

部	財務部	部長	山口 伸和
---	-----	----	-------

## 【基本方針】

財務部では、各部の施策を着実に実行していくため、重要な財源となる市税の確保に努めるとともに、将来にわたる健全で安定した財政運営を行うため、次の目標に取り組みます。

- ① 予算の執行状況を注視し、適正な予算配分について検討するとともに、将来の公債費負担の軽減に努めます。
- ② 市税の公平で適正な課税と徴収率の向上に努めます。
- ③ 契約にあたっては、公正性、透明性の向上に努めながら、競争性の確保を図るとともに、ウィズコロナの時代に対応した入札に移行します。

## 【重点目標】

1	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立					C
2	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	市税の公平で適正な課税及び徴収					B
3	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	適正かつ安全な入札及び契約の執行					A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)  
B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)  
C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)  
D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)  
E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

今年度の達成目標
令和3年度決算における予算執行率の検証結果を活かした予算編成を行います。



達成状況	達成度
令和5年度の予算要求額について、既存事業では経常費用の削減を行いました。各公共施設等の管理費において、エネルギー価格の高騰に伴う光熱水費の増加が影響し、財政調整基金の繰入額は、前年度比1億円増加しました。	C 一部達成

今年度の達成目標
今後増加が見込まれる投資的事業に係る費用の平準化を図ります。



達成状況	達成度
令和5年度当初予算において、投資的事業に係る費用は前年度と比べて1億円の減となったものの、地方債発行予定は前年度同規模の約9億円となりました。将来世代に対する負担の抑制が今後の課題ですが、事業費の平準化は図れました。	B 概ね達成



具体的取組
各事業ごとに予算執行率を検証し、適正な予算配分となるよう精査を行います。



具体的な取組実績
令和5年度予算の編成にあたり、令和3年度の決算や令和4年度予算の執行状況等を踏まえて、経常経費についてはシーリングを実施するとともに、各部局からの予算要求ヒアリングにおいて事業費精査を行いました。

所管室・課	財政課
具体的取組	
交付税に算入される優良な起債の選定を行うとともに、公債費の管理計画を見直します。	
所管室・課	財政課



具体的な取組実績
令和5年度実施計画における各課からの投資的事業の要求に際し、交付税算入のある起債を選定を行うなど、一般財源ベースでの事業費の平準化に取り組みました。また、実施計画の結果を反映した地方債償還シミュレーションの更新を行いました。

総合評価・総括
令和5年度当初予算は、前年度に比べて約3億2,000万円の増加となりました。これは新消防組合の発足に向けた整備負担金を計上したことに加え、エネルギー価格の高騰に伴い各公共施設における光熱水費が増加したことによるものです。また、予算額が増加したことに伴い、財源不足による財政調整基金からの繰入金も、前年度に比べて1億円増加したことから、持続可能な行財政運営に向けた取組としては課題が残った結果となりました。

全体の達成度
C 一部達成

今後検討すべきこと
今後、稼働人口の減少に伴い市税が減収していく中で、人件費や社会保障経費、他会計への繰出金などの固定経費は増加していくと見込んでいます。また、これに加えて老朽化施設の維持補修や改修などによる投資的経費の増加と、これに伴う公債費の増加も見込まれることから、財政運営は今後も厳しい状況が続くと見込まれます。投資的経費の平準化については、公共施設の統廃合や改修の必要性、実施時期などについて関係部署が連携して協議し、検討を進めます。

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 2	市税の公平で適正な課税及び徴収
--------	-----------------

今年度の達成目標
課税調査により課税客体を的確に把握し、公平で適正な課税及び徴収に努め、市税に対する信頼と税負担の公平性を確保します。



達成状況	達成度
取組結果に基づき、特別徴収分個人市民税1,155,000円、法人市民税539,700円、償却資産課税分固定資産税3,359,100円、合計5,053,800円の市税を新たに課税できました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
令和3年度の徴収率を上回ることを目指します。



達成状況	達成度
令和5年3月末地点の市税徴収率は、96.1%と昨年同時期と比較し、0.5ポイントの増加となりました。	B 概ね達成



具体的取組
未申告者に対する調査や申告催促、課税資料未提出事業所に対する提出催告、課税対象となる固定資産に関する現地訪問調査などを実施し、適正な課税の実現に努めます。



具体的な取組実績
給与支払報告書未提出事業所への提出催告(33件)、法人市民税未申告法人等への課税調査(33件)、償却資産未申告事業所への課税調査等(45件)を実施しました。

所管室・課	課税課
具体的取組	
滞納解消に向け、早期の納税相談及び交渉を行います。 また、滞納事案については、厳正な滞納整理を推進し、市税の適正な確保に努めます。	
所管室・課	納税課



具体的な取組実績
滞納となった場合に、督促状・催告書を送付し、早期に納税相談を行い、自主納付を促しました。 自主納付に至らない場合には、財産調査を行い滞納処分を執行し、滞納額の縮減を図りました。

総合評価・総括
令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、職員にも自宅待機等の影響が及び、通常業務執行にも苦慮することもある厳しい状況でしたが、可能な限り課税の適正化に取り組むことができましたと考えています。 また、同様の状況の中、市税の適正な確保に努めた結果、徴収率の向上及び滞納額の縮減を図ることができました。なお、徴収率向上には、景気回復基調も背景として影響したと考えられます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
今後も、限られた職員で効率的に課税の適正化を推進するため、多様な手法等を検討していきます。具体的には、複数の係間で共通する調査業務や未申告事業所との交渉窓口についての連携や一本化などにより、業務削減、税収増、市民サービス向上等が実現可能か検討していきたいと考えます。 また滞納解消に向け、納税者の実情に即したきめ細やかな納税相談に引き続き取り組むとともに、相談に応じない事案については、公売等の厳正な滞納整理も推進していきたいと考えます。

部(局)名	財務部
-------	-----

重点目標 3	適正かつ安全な入札及び契約の執行
--------	------------------

今年度の達成目標
契約事務における透明性・公正性・競争性を確保します。



達成状況	達成度
入札等監視委員会における審議の結果、意見の具申や勧告等がなかったことから、適正な入札、契約が行われていることが確認されました。	A 達成

今年度の達成目標
ウイズコロナ時代に対応するため、感染リスクを軽減した入札を実施します。



達成状況	達成度
入札会場における入札の機会を少なくし、極力、人流や密集を回避できたとともに、会場における新型コロナウイルス感染症の感染クラスターを防ぐことができました。	A 達成



具体的取組
入札及び契約の適正化を促進するため、入札等監視委員会において、対象案件の審議をしていただき、意見の具申又は勧告を行っていただきます。



具体的な取組実績
委員会は予定どおり3回開催し、7月に前年度下半期の建設工事と物品の購入、11月に前年度の業務委託、2月には今年度上半期の建設工事と物品の購入、それぞれの入札案件及び対象となる随意契約について、審議いただきました。

所管室・課	契約検査課
具体的取組	
これまで入札室で執行していた入札を来庁不要な電子入札や郵便入札に移行するとともに入札室で行う場合は、基準を設け、人流を抑制します。	
所管室・課	契約検査課



具体的な取組実績
全入札201件のうち、紙入札は、執行基準に適合する9案件のみに抑制し、残る192件については、電子入札又は、郵便入札としました。

総合評価・総括
契約事務における透明性・公正性・競争性の確保については、3回にわたり開催した入札等監視委員会において、対象となる契約案件を審議いただくことにより、達成できたと考えます。特に、委員会当日の審議案件の抽出に当たっては、事前の資料の早期送付(約2週間前)に努め、委員が十分に案件の内容を精査の上、選択いただく時間を確保できました。また、郵便入札においては、入札参加者の封入ミスが発生することもあるため、封入方法を分かりやすく図示した文書を配布する等、入札参加者の封入ミスによる無効入札の防止についても取り組みました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
入札・契約事務の最重要課題である透明性・公正性・競争性の確保について、引き続き取組を進めます。

# 令和4年度 市民部の運営方針

部	市民部	部長	桐藤 英樹
理事	奥野 秀樹(にぎわい観光担当)		

## 【基本方針】

市民部では、「市役所の顔」となる窓口サービスをはじめ人権、環境など、市民生活に直結した業務を市民ニーズの把握に努めながら進めるとともに、産業の振興、地域資源の活用や観光資源の充実、そしてコミュニティ活動への支援等を行っています。

目標達成に向けまして、窓口サービスの充実を図るため、マイナンバーカード所有者の転入手続きのワンストップ化を進めるとともに、「おくやみコーナー」の利用を促進してまいります。

そして人権が常に尊重される地域社会の実現のため、人権行政基本方針・推進プランの改定に基づき、部落差別をはじめとする様々な人権課題の解消に向けて啓発や相談体制の充実、そして平和事業の推進に取り組んでまいります。

また、環境施策としてごみの分別、減量化及びリサイクルを促進するため、地域での集団回収の充実を図るとともに、プラスチック容器をはじめとした回収拠点を増設してまいります。

産業振興については、新型コロナウイルス感染症による事業者への影響が続いており、状況を注視しながら必要な支援を行うとともに、女性活躍の応援をはじめとした人材育成等にも努めてまいります。

さらに日本遺産を中心にプロモーションやコンテンツの充実により、交流人口・関係人口の増加やおもてなし環境の整備へと繋げていくとともに、防犯対策を一層推進するため、地域コミュニティと一体となって防犯灯のLED化や防犯カメラの設置を進め、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

## 【重点目標】

1	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和4年度 達成状況
	窓口サービスの充実					A
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	人権・男女共同参画	令和4年度 達成状況
	部落差別をはじめとする様々な人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進、相談体制の充実と平和事業の推進					A
3	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	生活環境	令和4年度 達成状況
	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの促進】					B
4	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	商工業	令和4年度 達成状況
	女性活躍の応援に向けた民間事業者との連携による人材育成					A
5	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	観光	令和4年度 達成状況
	交流人口・関係人口の増加とおもてなし環境の整備					A
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防犯	令和4年度 達成状況
	防犯対策の推進					B

## 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)



部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 1	窓口サービスの充実
--------	-----------

今年度の達成目標
マイナンバーカード所有者の転入・転出手続きのワンストップ化を推進します。
今年度の達成目標
死亡後の手続きがワンストップで行える「おくやみコーナー」の利用増加を図ります。

達成状況	達成度
令和5年2月6日から運用を開始し、令和5年3月末までに68件の利用がありました。	A 達成
達成状況	達成度
おくやみコーナーの利用者が、2日前までの予約としていた1月までは月平均で22.8件でしたが、前日までの予約を可とした2月以降は月平均で37.5件に増加しました。	A 達成

具体的取組	
転出届の情報の取り込みや転入届にあらかじめ印字等を行えるよう、住民基本台帳システムの改修を行います。	
所管室・課	市民課
具体的取組	
関係各課と協力し、予約期限の短縮など運営方法の見直しを行い、利便性の向上を図ります。	
所管室・課	市民課

具体的な取組実績
住民基本台帳システムの改修を行い、令和5年2月から運用を開始しました。
具体的な取組実績
関係各課と協力して前日までの予約に対応できるよう運営方法の見直しを行い、令和5年2月から実施しました。

総合評価・総括
転入・転出手続きのワンストップ化については、遅滞なく運用を開始することができました。 おくやみコーナーについては、予約期限を前日までとすることで利便性が向上し、利用者の増を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
おくやみコーナーについては利用された方から好評を博しており、今後もより多くの方にご利用いただけるよう周知に努めてまいります。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 2	部落差別をはじめとする様々な人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進、相談体制の充実と平和事業の推進
--------	---

<b>今年度の達成目標</b>
柏原市人権協会や大阪法務局など関係機関との連携および情報を収集し、さらに創意工夫を凝らしながら、様々な差別事象の解消に向けた周知・啓発を実施します。
<b>今年度の達成目標</b>
多岐に渡る様々な事案に対応出来るように関連機関と情報共有を図りながら相談体制を充実させます。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの啓発事業が中止になっていましたが、今年度は可能な範囲で再開し、また、啓発活動の一つとして、インターネットを活用した動画配信を行うなど、差別解消に向けた周知・啓発活動を実施しました。	A 達成
<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
新型コロナウイルス感染症の影響による在宅機会が増えるにつれ、様々な相談が増加しましたが、相談者の悩みに十分に傾聴した上で、相談に応じた関連機関と連携するなど、相談体制の充実を図ることができました。	A 達成

<b>具体的取組</b>	
広報誌、市ウェブサイト及び市内公共設備等や各種行事を活用した啓発活動も引き続き行います。	
所管室・課	人権推進課
<b>具体的取組</b>	
相談員や職員を研修などに参加させ対応力の向上を図ります。	
所管室・課	人権推進課

<b>具体的な取組実績</b>
新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、可能な範囲で啓発事業を再開することができました。また、在宅でも講義を受けることができるよう、人権講座動画を作成し、柏原市公式チャンネルを活用して動画配信を行いました。
<b>具体的な取組実績</b>
大阪府人権総合講座人権相談員養成コースや各種研修会へ参加することで、相談員の相談対応力のスキルアップを図りました。また職員研修では人権侵害を受けた当事者を講師に招き、実体験に基づいた講義・研修を実施することにより、職員の人権問題への意識向上を図りました。

<b>総合評価・総括</b>
新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされていた各種啓発活動を再開し、人権問題に関する啓発活動に取り組むことができました。加えて初めての試みとして、動画配信による啓発活動を実施しました。 また、柏原市民を対象に実施した「人権問題に関する市民意識調査」をふまえ、人権尊重を基本とした社会の実現達成に向けた方針と人権施策の方向性を示した「柏原市人権行政基本方針・推進プラン」を改定しました。

<b>全体の達成度</b>
A
達成

<b>今後検討すべきこと</b>
今年度改定しました「柏原市人権行政基本方針・推進プラン」に基づき、未だ絶えない差別問題について周知・啓発や相談体制の充実を図るなど、差別解消に向けた人権施策の推進に取り組んでいきます。 また、令和6年度に策定を予定している「第4期かしわら男女共同参画プラン」の基礎資料とすることを目的として、「男女共同参画社会づくりに関する市民意識調査」を実施します。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの促進】
--------	-------------------------------------

今年度の達成目標
拠点回収品目を増やすことにより市民意識調査の「生活環境」、「環境保全」の満足度を前回数値より高めます。



達成状況	達成度
拠点回収品目数は、回収方法、保管場所等の調整が関係部署と継続協議中であり、現状維持ですが、市民意識調査については、「生活環境」、「環境保全」の満足度に関して、合計点が前回6.61点から0.26点増加し6.87点になりました。	A 達成

今年度の達成目標
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを目指します。



達成状況	達成度
今年度の実施団体は52団体で、前年より1団体増加しています。また、1回収量を前年と比較しますと今年度は約880トンで、前年より35トン減少しています。	B 概ね達成



具体的取組
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。



具体的な取組実績
市民公共施設に回収ボックスを設置し、蛍光灯・乾電池・ボタン電池・水銀温度計・水銀血圧計の回収を実施。今年度は、約4,734kg回収しており、前年度より674kg増加しています。

所管室・課	環境対策課
-------	-------

具体的取組
町会や子ども会などによる新聞紙等の回収事業を拡大します。



具体的な取組実績
今年度の町会や子ども会などリサイクル登録団体は52団体となり、前年度より1団体の増となりました。

所管室・課	環境対策課
-------	-------

総合評価・総括
リサイクル登録団体数は1団体の増となっており、リサイクル活動は拡大していると考えています。また、品目毎の回収量は、雑誌やダンボールは微増となっていますが、アルミ缶は微減となっています。さらに、新聞購読者の減少によって古新聞が減少するといった傾向は続くものと思われま。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
地区によっては、回収拠点が少ない場合もあり、引き続き、一つでも多く拠点を増やすこと、また、リサイクル活動を支援することがごみ減量やリサイクルの促進につながると考えています。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 4	女性活躍の応援に向けた民間事業者との連携による人材育成
--------	-----------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
自宅で働きたいと思う女性を応援する就労支援策を実施します。	ママITスキルアップ講座を実施したことにより、就労機会を増やすこと、働き方の選択肢を広げてもらうことができました。	A 達成

具体的取組
ママITスキルアップ講座を実施します。
所管室・課 産業振興課

具体的な取組実績
動画編集6回、web制作4回、全10回の講座を受講料無料で実施し、講座修了時には簡単な動画編集とweb制作ができるように努めました。

総合評価・総括	全体の達成度
スキルを身に付けることで、講座受講者自身のキャリアプランについて選択肢が広がるとともに、更なるレベルアップへの意欲向上に寄与することができました。	A 達成

今後検討すべきこと
身に付けたスキルを活かす出口が必要となるため、ITスキルを持つ人材を求めている事業者の掘り起しやニーズの把握ができるよう、アンケートの実施などを検討していきます。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 5	交流人口・関係人口の増加とおもてなし環境の整備
--------	-------------------------

今年度の達成目標
本市の知名度向上と交流人口・関係人口の増加を図ります。
今年度の達成目標
観光資源の充実とおもてなし環境の整備を図ります。



達成状況	達成度
本課の所管事業に関連して柏原市について新聞記事として24回、テレビ放送で17回、ラジオ放送で2回取り上げていただきました。令和5年1月から開始したプロジェクションマッピングの観覧に、3月末までに5,515人の方に来場していただきました。	A 達成
達成状況	達成度
亀の瀬トンネル内でのプロジェクションマッピングのほか、市役所前大和川河川敷でのイベントの充実等により旅行者に選ばれる機会が確実に増加したほか、Eバイクや案内板により市内を楽しみながら周遊できる環境を整備しました。	A 達成



具体的取組	
日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を中心に、本市の地域資源を活用した一般向けモニターツアーおよび観光関連団体や旅行会社、メディア等へのプロモーションを目的としたツアーを開催します。	
所管室・課	にぎわい観光課
具体的取組	
地域資源を活用したアクティビティの開発、プロジェクションマッピング等によるコンテンツの充実に取り組みます。	
所管室・課	にぎわい観光課



具体的な取組実績	
日本遺産をPRするために「亀の甲羅」の企画販売を開始し、PR動画を作成しました。一般向けモニターツアーおよびFAMトリップを実施しました。映画やドラマの撮影隊を誘致し、市内施設での撮影を支援しました。日本遺産協議会の事業として、トンネルツーリズムプランナーの花田氏をお招きしてインナーシンポジウムを開催しました。	
具体的な取組実績	
市内周遊ツアーに供するためのEバイクの整備、亀の瀬トンネル内にプロジェクションマッピング設備を整備しました。大和川下りの実証実験およびモニターツアーを実施しました。河川空間のオープン化に向けては、市役所前河川敷における社会実験イベントの開催に取り組みました。日本遺産「龍田古道・亀の瀬」のウォーキングルート上に案内板を設置しました。	

総合評価・総括
今年度は亀の瀬トンネル内でのプロジェクションマッピングという話題性の高いコンテンツを整備することで、メディアにも数多く採り上げていただきました。これにより亀の瀬の来訪者は飛躍的に増加し、日本遺産「龍田古道・亀の瀬」のストーリーと共に本市の認知向上に繋げることができています。また、河川空間のオープン化に向けての社会実験として開催したイベントでは、市役所前河川敷に大きなにぎわいを創出しており、取組に対する地元の理解を深めることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
亀の瀬に来訪された方の満足度を高め、滞在時間を延ばすための施策を講じるとともに、市域の周遊を促し商圏での消費に繋げる取組が必要な段階であると考えています。また、河川アクティビティやEバイクを活用したツアーの担い手を確保し、安定的にサービス提供を出来る環境づくりについての検討が必要です。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 6	防犯対策の推進
--------	---------

今年度の達成目標
自治会・町会設置の防犯灯について、新設・取替合わせて250本以上をLED化します。 また、防犯カメラについては10台以上の新設を推進します。



達成状況	達成度
自治会・町会設置の防犯灯については、新設・取替合わせて、279本をLED化しました。防犯カメラについては、7台の新設に対し補助を行いました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めます。



達成状況	達成度
令和4年度の市民意識調査結果では「防犯」項目の満足度が3.36となり、前年度の3.31より高めることができました。	A 達成



具体的取組
自治会・町会と連携し、LED防犯灯の取替工事を実施するとともに、LED防犯灯及び防犯カメラ新設補助金の積極的な活用を促進します。



具体的な取組実績
LED防犯灯取替工事については、町会・自治会にアンケート調査を行いながら進め、令和4年度で希望する町会・自治会の防犯灯のLED化を概ね完了することができました。 また、防犯灯および防犯カメラの新設補助金については、積極的に活用していただくよう、自治会・町会に対して啓発を行いました。

所管室・課	地域連携支援課
具体的取組	
防犯灯のLED化及び防犯カメラの設置を確実に実施することにより、市民満足度を高めます。	
所管室・課	地域連携支援課



具体的な取組実績
自治会・町会等と連携して防犯灯のLED化及び防犯カメラの設置を着実に進めることにより、安心安全なまちづくりに取り組み、市民満足度の向上につなげることができました。

総合評価・総括
防犯灯のLED化、防犯カメラの設置については、町会・自治会等の地域との連携により取組を進めることができました。その一方で新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、防犯活動や啓発活動などについては、予定通り進められないこともありました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
防犯カメラの設置については、今後も町会・自治会等に対して補助金制度の積極的な活用を呼び掛けていきます。また、柏原警察署、柏原防犯協会等と連携し、防犯活動や啓発活動等を行い、市民の防犯意識の高揚に努めます。

# 令和4年度 福祉こども部の運営方針

部	福祉こども部	部長	森口 秀樹
---	--------	----	-------

## 【基本方針】

「安全で安心して健やかに暮らせるまち」を実現するための関係する取組を政策目標とします。目標を達成するため、支援を必要とする市民一人ひとりのニーズを的確に把握しながら、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、障害者の自立支援、妊娠から子育てを経て18歳までの総合的な支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ総合的に取り組みます。

## 【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	地域福祉	令和4年度 達成状況
	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進					B
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	障害者福祉	令和4年度 達成状況
	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりの推進					B
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和4年度 達成状況
	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実					B
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和4年度 達成状況
	子どもの健やかな成長を支援するための子育て世帯への支援の充実					B
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	子育て支援	令和4年度 達成状況
	保育環境の充実と入所枠の適正化					B
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野		令和4年度 達成状況
	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営による良質なサービスの確保					B

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 1	地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
--------	----------------------

今年度の達成目標
ひきこもり状態の方々等の居場所を拡充し、共生の意識を醸成します。



達成状況	達成度
社会的居場所づくり事業は目標どおり達成できましたが、地域住民懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず、共生の意識醸成を十分には、図れませんでした。	C 一部達成

今年度の達成目標
地域で生活に困窮するなど、支援を必要とする方の多様な課題に対応します。



達成状況	達成度
生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」において、通常の窓口相談に加え、オンラインによる相談を13回実施することで、多様な課題への対応を図ることができました。	A 達成



具体的取組
社会的居場所を運営するボランティア団体やグループに対し、4団体を目標に活動補助します。また、地域住民懇談会を3回開催します。



具体的な取組実績
令和4年度は、「子どもや高齢者の集まりの場」「地域交流サロン」「農作業を通じて交流を図れる場」などを開催する4団体に対して活動補助することで社会的居場所づくりの推進を図りました。また、地域懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができませんでした。

所管室・課	福祉総務課
具体的取組	
相談窓口での様々な相談に引き続き対応するとともに、生活困窮者オンライン相談を年間12回以上行うなど、多様な相談機会を提供します。	
所管室・課	福祉総務課



具体的な取組実績
生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」において、通常の相談窓口に加え、オンライン相談を13回行い、多様な相談機会の提供に取り組みました。

総合評価・総括
生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」に窓口担当員を配置し、初めて相談に来られた方の初期対応を専門に行うことで、相談支援員が支援内容の検討や関係機関の調整などに専念できる相談体制の強化を図ることができました。また、社会的居場所づくりの活動をしている団体を支援することで、団体が活動しやすい環境の推進を図り、自宅以外に居場所がないと感じている方が安心して過ごせる場所の確保に努めました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮になられた方の相談件数の増加が見込まれるため、関係機関の連携を強化し、より相談者に寄り添った適切な支援ができる体制の構築を検討します。また、地域とのつながりが薄い人や引きこもっている人の社会参加を支援するために実施している「社会的居場所づくり事業」のより効果的な取組を検討します。



部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 2	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりの推進
--------	-----------------------------------

今年度の達成目標
第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に掲げた今年度の成果目標及活動指標を達成します。
今年度の達成目標
障害児支援事業をより充実させ、障害児及び保護者への支援を強化します。

達成状況	達成度
評価に基づき取り組んだ結果、就労移行支援の利用者に変化はないものの、就労継続支援A型、B型の実績が対前年度比1割増となり、障害者就労に向けた支援が前進しました。	B 概ね達成
達成状況	達成度
保護者向けの両プログラムを実施し、参加後のアンケート結果でも、参加者全員から満足したとの回答があったことから、支援の強化を図ることができました。	A 達成

具体的取組	
計画で掲げた施策を推進するとともに、成果目標及び活動指標について、柏原市障害者自立支援協議会と連携し、PDCAサイクルに基づいた評価・点検を行います。	
所管室・課	障害福祉課
具体的取組	
新たな支援事業として、専門的支援を要する発達障害児等に対して個別療育を行うとともに、保護者が療育スキル等を習得するために「ペアレントプログラム」、「ペアレントトレーニング」を実施します。	
所管室・課	障害福祉課

具体的な取組実績
令和4年7月の柏原市障害者自立支援協議会全体会において、計画の実績をPDCAサイクルに基づいた評価・点検及び意見聴取を実施しました。また、毎月開催する同協議会事務局会議にて、目標達成に向けた課題抽出等を行いました。
具体的な取組実績
発達障害児に対する関わり方や日頃の悩みをテーマとし、ペアレントプログラムを参加者各5名を定員として全6回、ペアレントトレーニングプログラムを参加者各8名を定員として全4回実施しました。

総合評価・総括
コロナ禍でしたが、「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画」に基づき、発達障害児及びその家族に対する支援を開始し、また自立支援協議会を中心に、地域の相談機関との連携強化の取組を図ることができたと考えています。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
令和5年度は計画の最終年度となるため、自立支援協議会と連携し、厳正な評価及び点検を行い、目標達成に向けて取り組みます。また、次期計画策定に向け、ニーズの把握に努め、障害者サービス全体のボトムアップを目指します。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 3	妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実
--------	--------------------------

今年度の達成目標
全ての子どもとその家庭及び妊産婦等が、切れ目のない支援を継続して受けることができる環境の充実をはかります。



達成状況	達成度
令和5年1月から開始となった伴走型相談支援及び妊産婦への経済的支援を行うことで、妊娠8か月面談と出生時面談を追加拡充することで、よりきめ細やかな支援体制を構築することができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
児童虐待の未然防止及び早期発見を図るとともに、見守りなど支援の必要な児童及び家庭全体の相談支援の充実をはかります。



達成状況	達成度
児童虐待の見守り機関の1つである小中学校に対して、研修を行うことができ、見守り支援体制の強化を図ることができました。また、ケース会議を通じて相談支援のあり方や関係機関との連携体制を整えることができました。	C 一部達成



具体的取組
子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを一体的運用し、支援の必要な家庭や子どもの情報を確実に共有・連携することで、切れ目なく相談・支援を実施します。



具体的な取組実績
未就園の在宅児童で支援が必要な子育て家庭については、養育支援訪問事業連携会議を月1回開催し、情報共有や支援方針の確認を行いました。また、発達に課題のある児童についても、就学に向けて切れ目のない支援の行うため、発達支援連携会議を年4回開催し、関係機関との連携を行い、支援の調整を行いました。



所管室・課	こども家庭安心課
具体的取組	
子ども家庭総合支援拠点に虐待対応専門員として専門職を1名増員し体制強化を図るとともに、要保護児童対策地域協議会の各機関と連携し、より効果的な支援を実施します。	
所管室・課	こども家庭安心課



具体的な取組実績
虐待対応専門員の増員は、できませんでしたが、要保護児童対策地域協議会(実務担当者会議)を年12回開催し、関係機関との連携を図り、個別ケース会議についても82回開催することで、個別支援の強化を図ることができました。また、教育委員会と連携し、「柏原市生徒指導講座」において、児童虐待についての研修会を開催しました。

総合評価・総括
虐待対応専門員の募集を継続的に行っていましたが応募がなく、増員することはできませんでしたが、関係機関と連携しながら、相談体制を整えることができました。子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体的実施について、様々な会議を通じて連携を強化でき、伴走型相談支援の開始に伴い、切れ目のない支援体制を整えることができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
制度の改正に伴う、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体的実施に向けて、妊婦から子育て世帯への相談体制のあり方について再構築が必要となっています。また、個別支援においては、ケースにより課題は様々であることから、職員のスキルアップや人材育成に重点をおいた体制を整えていく必要があります。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 4	子どもの健やかな成長を支援するための子育て世帯への支援の充実
--------	--------------------------------

今年度の達成目標
養育家庭訪問事業「ママプラス」について、さらにきめ細やかな支援へと事業の充実をはかるため、事業手法等を再構築し、より地域に根差した子育て支援を確立します。



達成状況	達成度
各地域の公立認定こども園保育教諭による訪問により、地域に根差した子育て支援を行うことができました。	A 達成

今年度の達成目標
放課後児童会で児童が安全に安心して過ごせる環境を整え、指導員の業務環境の改善をはかるとともに、事務の効率化による経費削減を目指します。



達成状況	達成度
環境整備面では、修繕等可能な部分に対応し、余裕教室の活用については各学校と協議を持つ段階まで進みました。指導員の業務環境改善と事務の効率化による経費削減については、一定の改善と効率化を図ることができました。	C 一部達成



具体的取組
生後7か月から1歳半までの子どものいる全ての家庭に、各地域の公立認定こども園の保育教諭が家庭を訪問する「すくすく訪問」を実施し、より身近に相談や支援を行います。



具体的な取組実績
出生や転入等により対象となる子どものいる家庭を、公立認定こども園の保育教諭が毎月地域ごとに家庭を訪問し、家庭で抱える様々な悩みや相談を聞くとともに、子育て支援に関する情報提供を行いました。また、訪問においては、あらかじめ市の保健師等と情報の伝達や共有を行うとともに、訪問後も必要に応じて関係機関につなぐなどの支援を行いました。

所管室・課	こども施設課
具体的取組	
経年劣化が進む児童会室について、校舎内余裕教室の活用に向けて検討を進めてまいります。また、指導員の出退勤システムを導入し、事務作業を軽減します。	
所管室・課	子育て支援課



具体的な取組実績
児童会室の校舎内余裕教室の活用については、教育委員会や各学校と協議の場を持ち、検討を行いました。指導員の出退勤システムについては、導入を完了し、運用を開始しました。また、これに合わせて報酬計算等に出退勤データを活用することで、事務作業を効率よく行う仕組みを構築しました。



総合評価・総括
「すくすく訪問」については、各公立認定こども園の保育教諭が訪問することにより、地域の対象となる子どもとその家庭に寄り添った支援ができました。放課後児童会については、まず環境整備の面で、老朽化等に伴う児童会室の今後について学校と協議を進めていますが、児童数が減少しているものの、現段階では余裕教室が生まれるまでには至らず、引き続き協議していくこととなりました。一方で、事務の効率化については、指導員の出退勤システムの導入により、一定の改善が図られており、さらなる改善につなげることができると考えられます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
「すくすく訪問」に関しては、訪問時の様々な相談内容に対応できるよう、訪問者の子育て支援に関する知識のさらなる充実に努めます。放課後児童会については、子どもの数が減少する中でも働き方の多様化等により入会児童は増えつつあることを踏まえ、より安全に安心して利用していただけるよう、環境面、運営面などあらゆる面について検討していきます。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 5	保育環境の充実と入所枠の適正化
--------	-----------------

今年度の達成目標
保育施設の給食の安定供給を目指し、令和6年度から全ての公立こども園、保育所において自園調理が開始できるよう準備を進めます。



達成状況	達成度
公立2施設の調理室改修工事が予定どおり完了しました。	A 達成

今年度の達成目標
年度当初の待機児童ゼロの達成を目指し、入所枠の適正化をはかります。



達成状況	達成度
公民合わせて保育士確保に取り組むとともに、ニーズの高い低年齢児の入所枠を拡大しましたが、国の定義による年度当初の待機児童はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことはできませんでした。	C 一部達成



具体的取組
令和6年度からの自園調理開始に向け、公立2施設の調理室改修工事を実施します。



具体的な取組実績
令和4年度は、かたしもこども園及び柏原西保育所の調理室を自園調理に対応できるよう改修しました。

所管室・課	こども施設課
具体的取組	
保育ニーズの変化に応じ、保育士の配置や確保等に公立・民間施設で柔軟に対応できるよう、民間保育園等の保育士確保の取組に対する助成を継続するなど、引続き入所枠の適正化に取り組みます。	
所管室・課	こども施設課



具体的な取組実績
公立施設では継続して保育士の募集を行うとともに、民間施設が行う保育士確保の取組に対し助成を行いました。また、ニーズの高い低年齢児の入所枠の拡大を図りました。



総合評価・総括
保育士確保の取組については、民間園8施設が22名の保育士に対し、市の補助制度を活用した一時金の支給を行うことで、保育士の新規雇用や離職防止に一定の効果があったものと考えています。また、保育士の配置や民間施設の協力により、低年齢児の入所枠を一定数拡大できましたが、令和5年度当初の入所希望数が増加したため、国の定義による待機児童数はゼロとなったものの、すべての入所希望に沿うことはできませんでした。自園調理開始に向けての取組については、目標通り2施設の調理室改修工事が完了しました。また、調理室改修工事中も給食の提供を継続することができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
年度当初にすべての入所希望児を受入れることができるよう、保育士確保の取組を継続するとともに、公民合わせた受入れ枠の確保方策の検討を進めます。また、令和6年度からすべての公立保育施設で自園調理が開始できるよう、調理室の改修工事を実施すると共に、調理業務を行う事業者の選定を行います。

部(局)名	福祉こども部
-------	--------

重点目標 6	福祉サービス事業者の健全かつ適正な運営による良質なサービスの確保
--------	----------------------------------

今年度の達成目標
福祉サービス事業者の健全な運営の確保を図るため、集団指導及び実地指導を実施します。



達成状況	達成度
市内全事業者に対し、集団指導を実施しました。また、実地指導を計画的に実施しました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
福祉サービス事業者が適正に運営できるよう、必要とする情報を迅速に提供します。



達成状況	達成度
事業所が必要とする情報を、迅速にオンライン等で提供しました。	A 達成



具体的取組
関係法令等に基づき、事業者の指導や監査等を実施します。



具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団指導については資料をホームページに掲載し、事業所には資料確認報告書を提出していただきました。また、可能な範囲で実地指導を実施しました。

所管室・課	福祉指導監査課
具体的取組	
事業運営に必要な情報をホームページ等で発信します。	
所管室・課	福祉指導監査課



具体的な取組実績
報酬関係、届出関係や研修案内等、事業運営に必要な情報をメールやホームページ等で事業者へ発信しました。



総合評価・総括
新型コロナウイルスの影響で、指導等を行うのが困難な状況でしたが、可能な範囲で実施しました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
事業者による福祉サービスが、さらに良質なものとなるよう指導・監査等を実施していきます。

# 令和4年度 健康部の運営方針

部	健康部	部長	田中 徹
---	-----	----	------

## 【基本方針】

「地域のつながりの中で、いつまでも健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。目標を達成するため、誰もが、身近な地域で、生涯を通じて健康に不安なく、自立して暮らすことができるまちを目指し、高齢者福祉の増進と健康寿命の延伸、健康づくり等の課題に対し、部内のみならず他部署とも連携を強化し総合的に取り組みます。

## 【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和4年度 達成状況
1	新型コロナウイルスワクチン接種の迅速かつ円滑な実施体制の確保及び推進					A
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和4年度 達成状況
2	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進					B
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和4年度 達成状況
3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進					A
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和4年度 達成状況
4	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和4年度 達成状況
5	国民健康保険事業の健全な運営の推進					A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 1	新型コロナウイルスワクチン接種の迅速かつ円滑な実施体制の確保及び推進
--------	------------------------------------

今年度の達成目標
新型コロナウイルスワクチン接種において、希望する市民が円滑に接種できる体制を整え、接種を完了します。



達成状況	達成度
新型コロナウイルスワクチン接種の推進においては、適切な情報提供とワクチン配送に加え、接種券の送付にも配慮することで、円滑な接種の体制づくりに寄与することができました。	A 達成

今年度の達成目標
小児用新型コロナウイルスワクチン接種において、希望する保護者が安心して接種できるよう情報提供を行い、接種体制を整えます。



達成状況	達成度
小児・乳幼児ワクチン接種においても、適切な情報提供やワクチン配送、接種券の送付を行い、円滑な接種の体制づくりに寄与することができました。	A 達成



具体的取組
個別接種において円滑に接種が進むよう、適切な情報提供をおこない、各医療機関に合わせたワクチンの配送をおこないます。



具体的な取組実績
令和4年度は5月下旬に第2期追加接種(4回目接種)、9月下旬に令和4年秋開始接種(5回目接種)が始まりましたが、それぞれの接種開始にあたり適切な情報提供を行うとともに、各個別接種医療機関に適宜適切にワクチン配送を行い、円滑なワクチン接種の推進に取り組みました。

所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
小児ワクチン接種において、市ウェブサイト等を活用し、ワクチンに関する適切な情報提供をおこない、円滑に進められるよう接種希望者に合わせた実施医療機関を調整します。	
所管室・課	健康づくり課



具体的な取組実績
小児ワクチン接種(5歳～11歳)の追加接種が9月上旬から始まるとともに、乳幼児ワクチン接種(生後6カ月～4歳)の初回接種が10月下旬から始まりましたが、それぞれの接種開始にあたり適切な情報提供を行うとともに、円滑な接種に資するため実施医療機関との調整を行いました。

総合評価・総括
新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施に向けた体制づくりについては、当初の予定どおり達成できたと考えていますが、小児接種および乳幼児接種では、12歳以上のワクチン接種(初回接種率87.7%)と比較すると開始時期に違いはあるものの、小児接種(10.2%)、乳幼児接種(2.9%、いずれも令和4年度末現在)ともに想定よりも接種が進みませんでした。全国的な傾向と同様ではありますが、想定より低い接種率で推移していますので、今後の情報提供のあり方などを検討する必要があると考えています。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
令和5年5月8日には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に変更され、新型コロナウイルスワクチン接種についても高齢者等の重症化リスクの高い方を除き、予防接種法上の接種の努力義務が適用除外(初回接種を除く)となることから、今後の接種の推進についてはより質の高い情報提供が必要になってくるものと考えています。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 2	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進
--------	-------------------------

今年度の達成目標
市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりプロジェクトチームにおいて健康づくり事業の啓発や取組を充実させます。
今年度の達成目標
がん検診の受診体制を整え、受診率の向上を図ります。



達成状況	達成度
健康づくり啓発冊子の作成と啓発のための健康教室の開催に加え、イベントでの健康啓発や健康づくり動画の作成など、当初の目標以上の取組を実施することができました。	A 達成
達成状況	達成度
令和4年度受診率の公表が今夏以降のため、昨年度との受診者数で比較すると、胃がん検診953名(67名減)、大腸がん検診2,552名(47名増)、肺がん検診1,297名(6名増)、乳がん検診1,888名(170名減)、子宮頸がん検診2,131名(259名減)であり、2検診では増加したものの、3検診で減少しました。	C 一部達成

具体的取組	
健康づくりプロジェクトチームにおいて産学官協働で健康づくりに関する啓発冊子を作成し、健康に関する情報発信をおこないます。	
所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
がん検診においてウェブ予約を開始します。また、全国健康保険協会の特定健診との同時検診をおこないます。	
所管室・課	健康づくり課



具体的な取組実績
健康づくりプロジェクトチームにおいて産学官協働で健康づくり啓発冊子「柏原けんこうおたすけ手帳」を作成し、冊子啓発のためのウォーキング講座を関西福祉科学大学および大阪教育大学協力のもと3回開催しました。また、市役所前大和川河川敷公園で開催された各種イベントに健康づくりブースを出展し、来場者への健康啓発を行いました。さらに、自宅で簡単にできる健康づくり動画を作成し、市民の健康啓発に取り組みました。
具体的な取組実績
がん検診受診率向上の取組として、これまで国民健康保険の特定健診との同時実施や日曜日の実施、保育付きの実施など受診環境の改善に努めており、令和4年度は受診予約にウェブ予約を導入し、予約環境を改善することに加え、全国健康保険協会(協会けんぽ)の特定健診との同時実施にも取り組みました。

総合評価・総括
健康づくりプロジェクトチームでの取組を中心に、新たな事業を実施することで、様々な市民の健康づくりにアプローチすることができました。これまでの平日の日中に実施する事業だけではなく、ナイトヨガの開催や土日の河川敷でのイベントに出展したことは、新たな層へのアプローチとして有効であることが確認でき、さらに事業への参加募集をこれまでとは違う方法で行うことで特定の層へのアプローチが可能であることも確認できたので、今後の事業に活かしていきたいと考えています。また、がん検診の受診率向上に向けては、コロナ禍で減少した受診者数を増やせるよう、これまでの取組に加え、新たな取組も実施していく必要があると考えています。

全体の達成度
B
概ね達成

今後検討すべきこと
多くの市民がコロナ禍を経験したことで健康への関心がこれまで以上に高まっていることから、この時期を逃すことなく、これまで健康づくりに関心の薄かった層へもアプローチできるよう、健康づくりプロジェクトチームでの取組を中心に引き続き新たな事業を実施していきます。また、新たに国で策定された第4期がん対策推進基本計画に基づく事業にも積極的に取り組みます。



部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進
--------	----------------------------------

今年度の達成目標
高齢者のデジタルデバインド解消を図ります。



達成状況	達成度
高齢者向けスマートフォン教室にのべ628名の参加があり、教室開催を通じて、9割以上の参加者より満足の声をいただき、デジタルデバインド解消に向け前進しました。	A 達成

今年度の達成目標
高齢者のフレイル(虚弱状態)の確認及び支援を行います。



達成状況	達成度
フレイルチェックを行った結果、3,226名より回答があり、そのうち、フレイルの可能性のある518名へ地域包括支援センター等が訪問や電話にて当該高齢者へ直接確認を行い、相談対応・支援を行いました。	A 達成



具体的取組
老人クラブや地域サロン等に対し、高齢者向けスマートフォン教室を実施します。



具体的な取組実績
地域包括支援センターと連携し、老人クラブや地域サロン等へ高齢者向けスマートフォン教室の案内を実施し、その結果、スマートフォン教室を50回開催できました。

所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
70歳以上のフレイルチェック未実施の前期高齢者に対し、フレイルチェックを実施します。さらに、フレイルの内容に応じて、フレイルから脱却するための個別支援を行います。	
所管室・課	高齢介護課



具体的な取組実績
70歳以上のフレイルチェック未実施の前期高齢者4,112人へ、生活状況や身体状況等に関する32の質問が記載されたフレイルチェックを送付しました。

総合評価・総括
教室に参加された方は、スマートフォンを活用することで新型コロナウイルス感染症の流行下であっても、感染リスクのないオンライン環境で、家族・知人と関わりを持つことが可能となりました。 70歳以上のフレイルチェック未実施の前期高齢者への実施により、多くの高齢者の健康状態を確認できたことで、コロナ禍において閉じこもり等による身体機能が低下している方への適切な介護予防事業の普及啓発や、地域包括支援センターによる総合的な支援、相談を実施することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
いつまでも住み慣れた環境で元気に生活ができる高齢者が増えるよう、今後もスマートフォン教室やフレイルチェックのように、介護予防や認知症予防に繋がる事業を実施していきます。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 4	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備
--------	---------------------------

今年度の達成目標
短期集中予防サービスの利用者数の増加を図ります。
今年度の達成目標
柏原市内の介護関係者に対し、地域支援事業を中心に、高齢者の自立した日常生活の支援と、要介護状態となることへの予防・悪化防止の考え方の周知・普及を図ります。

達成状況	達成度
短期集中予防サービスの利用者は、前年度13名に対し、今年度は27名と増加しました。	A 達成
達成状況	達成度
要支援認定者のケアプランを作成している柏原市内の全ての居宅介護支援事業所の出席があり、自立支援型地域ケア会議を通じて介護予防事業を含めた地域支援事業の周知や要介護状態となることへの予防・悪化防止の考え方の周知を図ることができました。	A 達成

具体的取組	
フレイルチェックリストの活用やケアマネージャーによる対象者の掘り起こしを行います。	
所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
柏原市内の居宅介護支援事業所に対し、自立支援型地域ケア会議等を通じて、地域支援事業を中心に、高齢者の自立した日常生活の支援と、要介護状態となることへの予防・悪化防止の考え方の周知を行います。	
所管室・課	高齢介護課

具体的な取組実績	
フレイルチェックを実施し、回答をいただいた方へ相談窓口(地域包括支援センター)の案内を行い、ケアマネージャーや柏原市民に対し、介護予防に関する講演会や広報を通じて、短期集中予防サービスの周知・普及を図りました。	
具体的な取組実績	
柏原市内の居宅介護支援事業所のケアマネージャーの事例について、運動・栄養・口腔・医療・社会資源に関する専門職より多角的な助言を行う自立支援型地域ケア会議を毎月開催しました。	

総合評価・総括
短期集中予防サービスを通じて、利用者の生活課題の解決や身体機能の向上を図り、利用者の自立した生活が可能となりました。そして、短期集中予防サービスの訪問C型に加え、通所C型を令和4年12月より開始し、利用者の多様なニーズにより柔軟に対応できる体制が構築されました。自立支援型地域ケア会議は、居宅介護支援事業所のケアマネージャーのケアマネジメント力の強化を図る場にもなりました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
より多くの高齢者が短期集中予防サービスを利用できるよう、実施内容の充実や周知啓発に努めます。自立支援型地域ケア会議については今後も継続し、柏原市内の居宅介護支援事業所のケアマネージャーに対し、介護予防事業を始めとした地域支援事業の周知とケアマネジメント力の強化を図ります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 5	国民健康保険事業の健全な運営の推進
--------	-------------------

今年度の達成目標
被保険者の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健診の受診率向上を図ります。



達成状況	達成度
特定健診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、昨年度を上回りました。	A 達成

今年度の達成目標
国民健康保険財政の健全な運営を推進するため、保険料の収納率向上を図ります。



達成状況	達成度
保険料の収納率は、前年度を上回りました。	A 達成



具体的取組
未受診者対策を実施するなど、特定健診と人間ドックの受診を勧奨します。



具体的な取組実績
特定健診及び人間ドックの受診について、広報誌やウェブサイト等にて周知啓発を図りました。また、例年、特定健診未受診者に特定健診や人間ドックの受診を勧奨するハガキを年1回送付していますが、令和4年度は7月に5,527通、9月に7,037通と年2回送付しました。更に、電話・訪問での受診勧奨も実施しました。

所管室・課	保険年金課
具体的取組	
納付相談の機会の充実や滞納処分の着実な実施に努めます。	
所管室・課	保険年金課



具体的な取組実績
催告書の送付や納付忘れを防ぐためのコールセンターによる納付勧奨を行いました。また、預金などの差押えを126件実施しました。

総合評価・総括
特定健診の受診率が向上したことで、より多くの被保険者の生活習慣病の発症や重症化の予防に資することができました。また、保険料の収納率が向上したことで、国保財政の健全化と保険料を納期限内に納付されている方との公平性の確保を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
特定健診の受診行動を起こすためには、医師や看護師からの受診勧奨が最も効果的であるといわれています。今後は、柏原市医師会と連携し、医療機関からの受診勧奨を強化する取組を検討していきます。また、催告書等の送付回数を増やすなど、早期に納付相談が行えるよう検討していきます。

# 令和4年度 都市デザイン部の運営方針

部	都市デザイン部	部長	森本 貞男
理事	小林 秀行 (交通政策担当)		

## 【基本方針】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について、災害に強いまちづくりを実現するため日常及び計画的な維持補修、長寿命化、耐震化の取り組みを行います。また、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図ります。

公園や広場、緑地については、市民協働による憩いとやすらぎの場にするとともに、災害時の一時避難にも利用できるよう、安全で安心な施設として維持保全に努めます。

あわせて、市民の利便性向上や地域の活性化、防災体制の強化を図るため、バリアフリー化の促進や緊急交通路などの整備を促進します。

交通安全対策としては、警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の安全意識の高揚を図るための啓発活動の充実や通学路の安全対策に取り組めます。

市内循環バスについては、公共交通施策を推進するため市民のニーズや利用状況を把握し、効果的効率的なバス運行に努めるとともに、利用者の利便性向上のため取り組みを推進します。

## 【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	災害に強い強靱なまちづくりの推進					C
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	交通安全	令和4年度 達成状況
	交通安全対策の推進					B
3	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	土地利用	令和4年度 達成状況
	都市基盤の整備計画の推進					A
4	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	公園・緑地	令和4年度 達成状況
	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全安心な公園、広場とするための維持管理					B
5	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	道路	令和4年度 達成状況
	都市基盤の計画的、効果的な整備と維持補修の推進					B
6	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	公共交通	令和4年度 達成状況
	公共交通施策の推進					A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点目標 1	災害に強い強靱なまちづくりの推進
--------	------------------

<b>今年度の達成目標</b>
耐震診断、耐震改修、除却、ブロック塀撤去の補助制度について、前年度からの利用者数を増加させます。
<b>今年度の達成目標</b>
橋りょう長寿命化計画に基づき国分寺大橋の橋脚部の補修と大規模地震に備えた耐震補強工事を進めます。
<b>今年度の達成目標</b>
道路強靱化に向け、上市法善寺線の道路整備を行います。また、都市計画道路田辺旭ヶ丘線の整備を推進します。



達成状況	達成度
前年度利用者数と比較し、耐震診断については3件減、耐震改修は同数、除却は2件増、ブロック塀撤去は同数であり、総数では5件減となりました。	C 一部達成
一級河川大和川の河川内にある橋脚について、橋脚部の補修と大規模地震に備えた耐震補強工事が進みました。	A 達成
上市法善寺線において、道路整備に必要な用地取得には至りませんでした。歩行者の安全確保のため、仮歩道の整備を行いました。また、田辺旭ヶ丘線において、詳細設計業務に着手し整備を推進しました。	C 一部達成



<b>具体的取組</b>	
建物所有者に耐震化に対する理解を更に深めて頂くよう個別訪問や相談会等を実施し、耐震化の普及啓発に努めます。	
所管室・課	都市開発課
<b>具体的取組</b>	
橋脚部の損傷部においてモルタル補修工事と橋脚全体をコンクリートで巻立て補強工事を行います。	
所管室・課	都市政策課
<b>具体的取組</b>	
道路整備に必要な用地取得を進め、上市法善寺線において用地取得した工事が可能な範囲の道路整備工事(歩道整備)に取り組みます。また田辺旭ヶ丘線において工事に向けた詳細設計を行います。	
所管室・課	都市政策課



<b>具体的な取組実績</b>
耐震化の普及啓発として、旧耐震基準の住宅を対象にDMの配布(約400戸)、R3年度に耐震診断補助を利用された方(13名)に対してDM送付、啓発資料の全戸配布、「耐震個別相談会と講演会」の開催(7月23日)、庁舎内での耐震パネルの展示(4~5月)等を行いました。
<b>具体的な取組実績</b>
国分寺大橋については、一級河川大和川の河川内に位置する橋脚において、橋脚部の損傷部においてモルタル補修工事を完了し、橋脚全体をコンクリートで巻立て補強工事を行っています。
<b>具体的な取組実績</b>
上市法善寺線については、道路整備に必要な用地取得に向け、地権者と交渉を行いました。また用地取得した工事が可能な範囲の仮歩道整備を行いました。田辺旭ヶ丘線については、工事着手に向け、詳細設計において橋梁の耐震性能の見直しを実施し、関係機関協議を進めています。

<b>総合評価・総括</b>
住宅の耐震化の促進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要があります。国分寺大橋においては、引き続き河川内にある橋脚の補修及び耐震補強工事を進める必要があります。道路整備においては、道路用地の確保に向け、用地買収の交渉を鋭意進めるとともに、用地買収完了後、引き続き道路整備工事に着手し、早期完了を目指す必要があります。

<b>全体の達成度</b>
C
一部達成

<b>今後検討すべきこと</b>
住宅の耐震化については、防災イベント等による普及啓発や、市有施設への啓発パンフレットの設置など引き続き各種補助制度を積極的にPRを行います。国分寺大橋、上市法善寺線及び田辺旭ヶ丘線においては、事業進捗の管理を行っていきます。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点目標 2	交通安全対策の推進
--------	-----------

今年度の達成目標
通学路の安全対策について引き続き取り組み、また、通学路点検につきましても、継続して実施し、通学路の安全・安心確保に努めます。
今年度の達成目標
啓発活動を通じて、交通事故ゼロ、また駅前自転車等放置禁止区域において、自転車等の放置台数ゼロを目指します。

達成状況	達成度
柏原市交通安全総合整備計画の短期計画に位置付けている通学路におけるグリーンベルトの設置・交差点のカラー化の対策が全校完了し、通学路の安全・安心確保を図りました。	A 達成
達成状況	達成度
放置自転車等の対策として、啓発活動や移動運搬等を強化しましたが、昨年度と比較し、放置自転車等の台数が41台増加しました。	C 一部達成

具体的取組	
令和元年度に策定した「柏原市交通安全総合整備計画」に基づき、堅下北小学校区・堅上小学校区のグリーンベルトの設置・交差点のカラー化を実施します。 また、中期計画に位置付けている水路の暗渠化・フェンスの設置・照明灯の設置等の詳細設計業務を実施します。	
所管室・課	交通政策課
具体的取組	
関係機関と連携しながら、交通安全キャンペーン等やウェブサイト、市広報誌等を活用した啓発活動を行うとともに市内認定こども園・小学校等において交通安全教室を行います。 また、放置自転車等の対策として、駅前の放置自転車等に対する街路指導等を強化します。	
所管室・課	交通政策課

具体的な取組実績
堅下北小学校・堅上小学校の通学路におけるグリーンベルトの設置・交差点のカラー化について完了し、中期計画に位置付けている水路の暗渠化・フェンスの設置・道路照明灯の設置等の詳細設計業務を実施しました。
具体的な取組実績
関係機関と連携しながら、駅前キャンペーンや通学路における学童指導等を実施しました。 また、市ウェブサイト・SNS・広報誌等を活用し、交通安全啓発周知を行いました。 新型コロナウイルス感染症により中止していた交通安全教室については、秋より再開し、認定こども園・保育所(園)・小学校3・4年生を対象に実施しました。 また、放置自転車等の対策として、駅前の街路指導・移動運搬の回数を増やし、啓発等を強化しました。

総合評価・総括
通学路の安全対策や交通安全の周知啓発を実施しましたが、市内の二輪車交通事故の件数が増加しました。今後も交通安全の周知啓発を強化していく必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、駅前の放置自転車等も増加傾向にあるため、さらなる啓発・移動運搬の強化を図る必要があります。

全体の達成度
B
概ね達成

今後検討すべきこと
柏原市交通安全総合整備計画の中期計画に位置付けている水路の暗渠化・フェンスの設置・道路照明灯の設置の工事に着手します。 また、昨年度に引き続きキャンペーン・通学路指導・交通安全教室等により交通安全啓発を強化します。 放置自転車対策についても、啓発等を強化し、放置自転車台数が減少するよう対策を進めます。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点目標 3	都市基盤の整備計画の推進
--------	--------------

今年度の達成目標
柏原駅東地区の活性化を図るため、柏原駅東地区のまちづくり構想の策定に着手します。
今年度の達成目標
西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置検討を行います。

達成状況	達成度
柏原駅東地区の活性化を図るため、柏原駅東地区のまちづくり構想の策定に着手しました。	A 達成
達成状況	達成度
西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置に向け概略検討を行っています。	A 達成

具体的取組	
道路現況、土地利用、公共交通など地区の現状調査などから、地区の課題などを把握します。	
所管室・課	都市政策課
具体的取組	
西名阪自動車道スマートインターチェンジ整備後の交通量予測と整備効果の検証を行います。	
所管室・課	都市政策課

具体的な取組実績
道路現況、土地利用、公共交通などの現状調査、商店街へのアンケート等を行い、検討すべき課題の抽出を行いました。
具体的な取組実績
西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置場所や構造を検討し、概算費用の算出を行いました。

総合評価・総括
都市基盤の整備計画の推進については、令和4年3月に改定しました柏原市都市計画マスタープランに基づき、柏原駅東地区まちづくり基本構想の策定に着手しました。また西名阪自動車道スマートインターチェンジの設置に向け、設置場所の検討を行ったことにより、令和5年度に整備後の交通量予測や整備効果の検証を行えます。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
柏原駅東地区の活性化については、地域の課題解決に向けた整備方針を検討します。西名阪自動車道スマートインターチェンジの整備については、事業化に向け、引き続き費用対効果の算出などの検討を行います。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点目標 4	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全安心な公園、広場とするための維持管理
--------	--

<b>今年度の達成目標</b>
公園や緑地などにおいて、地域の皆様との協働による、みどり豊かなまちづくりを進め、地域の皆様に愛着をもっていただける場となるように努めます。
<b>今年度の達成目標</b>
市内の公園においては、安全で安心して、快適に公園を利用していただき、憩いとやすらぎの場となるように維持管理に努めます。
<b>今年度の達成目標</b>
河川空間のオープン化実現に向け、関係部署と連携して協議会を開催し社会実験の実績づくりなどを進めていきます。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
公園や協働緑地などでの、季節の花苗配布では、多くの団体に草花の植栽をしていただきました。市民協働による植樹等を行うことで、地域の皆様に愛着を持っていただける場となるよう努めました。	B 概ね達成
<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
市内各公園の定期的な点検とともに、遊具の修繕、更新、草刈清掃、樹木の剪定などを行い、安全に安心して利用していただける、憩いと安らぎ、交流をもたらす場となるように努めました。また、玉手山公園のトイレの改修、平野けやき公園のすべり台の更新等を行い、快適性と利便性の向上に努めました。	B 概ね達成
<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
河川空間のオープン化実現に向け、関係部署と連携して協議会を開催し社会実験の実績づくりなどを進めていきます。	B 概ね達成

<b>具体的取組</b>	
広報紙などで市民協働による草花の植栽を呼びかけ、希望される町会や団体などに、季節の花苗などを配布し、公園や緑地などの公共の場で、地域の皆様との協働による草花の植栽を行います。	
所管室・課	都市管理課
<b>具体的取組</b>	
市内の公園では、遊具や施設の点検及び補修、あるいは草刈、樹木の剪定などを行うほか、遊具の修繕として、玉手1号公園や平野けやき公園などで、老朽化が進んでいる遊具の修繕工事を行います。	
所管室・課	都市管理課
<b>具体的取組</b>	
柏原市大和川河川空間利用調整協議会を開催し、社会実験の企画検討や実施報告を行い、課題抽出や企画内容を協議し進めていきます。	
所管室・課	都市管理課

<b>具体的な取組実績</b>
広報誌による花苗配布の呼びかけを行い、年間2回、地域への花苗配布を実施しました。(春:3,440株・33団体、秋:3,600株・34団体) 協働緑地においても、年7回の花苗配布を行い、市民と協働で花苗の植栽や草刈り等を実施しました。
<b>具体的な取組実績</b>
市内の公園においては、職員による定期的な日常点検とともに、年1回の専門業者による遊具点検(104公園318基)を実施しました。また、玉手1号公園の複合遊具の修繕のほか、平野けやき公園、柏翠園ちびっこ老人憩いの広場の老朽化した遊具(鉄棒1基、すべり台1基)の更新、砂場殺菌(33箇所)、樹木剪定(80箇所)、街路樹剪定(12箇所)、大和川河川敷芝生管理等を実施しました。市立玉手山公園では、メイン広場トイレの改修を行いました。
<b>具体的な取組実績</b>
柏原市大和川河川空間利用調整協議会を3回開催し、社会実験の企画検討や実施報告を行い、課題抽出や企画内容の協議を実施しました。社会実験は7回(内2回中止)実施しました。

<b>総合評価・総括</b>
花苗配布や協働緑地での植栽等、公園・広場の巡視及び維持管理について、一定水準達成できました。

<b>全体の達成度</b>
B
概ね達成

<b>今後検討すべきこと</b>
高齢化により、町会での公園などでのボランティア活動が難しいとの声が聞かれることから、安全で快適な公園・広場を確保していくためにも、市内公園・広場の効率的な維持管理体制を構築していく必要があります。また、公園の老朽化が進んでおり、長寿命化など効率的な修繕、更新をしていく必要があります。



部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点目標 5	都市基盤の計画的、効果的な整備と維持補修の推進
--------	-------------------------

<b>今年度の達成目標</b>
車両通行の安全確保及び農林業生産性の向上を図るため、信貴太平寺線の道路整備を行います。
<b>今年度の達成目標</b>
平成31年3月に策定しました柏原市バリアフリー基本構想(堅下駅・法善寺駅周辺地区)における駅や生活関連経路の整備を進めます。
<b>今年度の達成目標</b>
道路の維持管理については、通行の安全を最優先に考え、道路の計画的及び効果的な維持補修を進めます。

<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
信貴太平寺線の道路拡幅工事(2工区)を行いました。	A 達成
<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
近鉄法善寺駅、堅下駅のバリアフリー化工事を進めました。また生活関連経路の整備に向け、山ノ井法善寺線の詳細設計を引き続き行っています。	B 概ね達成
<b>達成状況</b>	<b>達成度</b>
道路パトロールや計画的な道路の舗装工事及び歩道橋の補修工事などにより、車両及び歩行者の安全な通行の確保の取組を進めました。	A 達成

<b>具体的取組</b>	
令和6年度完成に向け、信貴太平寺線の道路拡幅工事(2工区・延長140m)を行います。	
所管室・課	都市政策課
<b>具体的取組</b>	
近鉄堅下駅、法善寺駅のバリアフリー化工事を進めます。また生活関連経路である山ノ井法善寺線の詳細設計を行います。	
所管室・課	都市政策課
<b>具体的取組</b>	
道路の舗装工事を舗裝修繕計画に基づいて行います。また、国分歩道橋の補修工事を、令和4年度での完成を目指して引き続き行います。なお、道路パトロールや市民からの通報により道路面や路肩などの破損、陥没等を確認した場合は、迅速に補修工事を行います。このほか、日本遺産「龍田古道・亀の瀬」ウォーキングルートとなっている市道畑3号線において、観光促進を目的とした通路面の整備補修を行います。	
所管室・課	都市管理課

<b>具体的な取組実績</b>
全体計画延長530mのうち、2工区の延長140mにおいて道路拡幅工事を行いました。
<b>具体的な取組実績</b>
近鉄法善寺駅、堅下駅の下りホーム(大阪行き)の地上改札が完成しました。また、山ノ井法善寺線の詳細設計を行い、道路幅員や安全対策などの検討、交通管理者である警察協議により道路形態及び道路線形を決定し、詳細設計を進めています。
<b>具体的な取組実績</b>
道路の舗装工事については、舗裝修繕計画に基づき、市道石川東線において、舗装工事を行いました。また、国分歩道橋の補修工事については、長寿命化計画に基づき、令和3年に引き続き補修工事を行いました。道路の維持管理については、道路の破損、陥没に対し、道路パトロールの強化や市民の方からの通報に対して、迅速に対応し、補修工事を123箇所行いました。その他、日本遺産「龍田古道・亀の瀬」ウォーキングルートとなっている市道畑3号線においては、補助金制度を活用し、通路面の整備補修工事を行いました。

<b>総合評価・総括</b>
信貴太平寺線においては、計画通りに事業を行うことが出来ました。引き続き道路拡幅工事を行ってまいります。近鉄法善寺駅、堅下駅のバリアフリー化工事については、上りホーム、下りホームともに地上改札が完成しました。市道石川東線において舗装工事、国分歩道橋において補修工事を行ったことから、車両や歩行者等の安全な通行を確保することができました。道路維持において、簡易な補修は職員によって行うとともに、補修工事についても迅速に行い、安全確保に努めました。日本遺産「龍田古道・亀の瀬」ウォーキングルートとなっている市道畑3号線において、通路面の整備補修工事を行いました。

<b>全体の達成度</b>
B
概ね達成

<b>今後検討すべきこと</b>
信貴太平寺線において、事業計画に遅れが生じないよう、事業の進捗管理を行ってまいります。バリアフリー化事業につきましては、生活関連経路について整備を行ってまいります。また車両及び歩行者の安全安心な通行の確保について、引き続き対応してまいります。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点目標 6	公共交通施策の推進
--------	-----------

今年度の達成目標
市内循環バスの位置情報がホームページやスマートフォンで確認できるシステムの導入し、利用者の利便性の向上を図ります。



達成状況	達成度
市内循環バスの位置情報が確認できるバスロケーションシステムの導入を行い、利用者の利便性が向上しました。	A 達成

今年度の達成目標
市内循環バスの今後のあり方を検討して行くための基礎データ資料の作成を行います。



達成状況	達成度
乗降区間データ(ODデータ)の収集を行い、地図やグラフに可視化することで基礎データ資料が作成できました。	A 達成



具体的取組
パソコンやスマートフォンから、市内循環バス「きらめき号」の位置情報が確認できる公開型GISを活用したバスロケーションシステムの導入に取り組みます。



具体的な取組実績
公開型GISを活用したバスロケーションシステムの導入を行い、ホームページやスマートフォンから、市内循環バスの位置情報や遅延情報が閲覧できるシステム構築を行いました。

所管室・課	交通政策課
具体的取組	
現在の市内循環バスの運行状況の精査・分析を行います。	
所管室・課	交通政策課



具体的な取組実績
市内循環バス1号車から5号車にAIカメラを設置し、乗車区間データ(ODデータ)の収集を行いました。情報収集しましたデータについて、整理・とりまとめを行いました。

総合評価・総括
公開型GISを活用したバスロケーションシステムの導入を図り、市内循環バスの位置情報や遅延情報を発信することにより、市民サービス向上を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
本市の地域公共交通の検討のため、市内循環バスの運行最適化に向けた乗車区間データの詳細な分析や、乗降者へのアンケート調査等を実施していきます。バスロケーションシステムの利用促進を図るため、市内循環バス利用者に働きかけていきます。

# 令和4年度 会計管理室の運営方針

室	会計管理室	会計管理者	石橋 敬三
---	-------	-------	-------

## 【基本方針】

会計管理室は、予算を執行する機関に対して、内部けん制する権限が与えられており、これらの事務を担当する会計管理室は、会計管理者の補助組織として、公金の収支及び保管、支出負担行為の確認、決算の調製など会計管理者の権限に属する出納事務を担当しています。  
そのため、出納事務の執行に当たっては、法律等に基づき、予算執行が適正に行われているかを厳正に審査し、適正かつ迅速な出納事務の執行と公金の適正管理に努めてまいります。  
また、公金の運用については、社会経済状況を見ながら、安全確実かつ有利な方法で行います。

## 【重点目標】

1	目標	分野	令和4年度 達成状況
	適正かつ迅速な出納事務の執行		A
2	目標	分野	令和4年度 達成状況
	公金の適正管理及び運用		A
3	目標	分野	令和4年度 達成状況
	指定金融機関等の検査の実施		A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	会計管理室
-------	-------

重点目標 1	適正かつ迅速な出納事務の執行
--------	----------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
公金の収支が法令等に基づき、適正に執行されるよう厳正な審査を行うことで、さらなる信頼性の高い市政の確立を目指します。	監査委員による毎月の出納検査において指摘事項はあったものの、直ちに改善を行うことにより適正な出納事務を実施することで、信頼性の高い市政の確立を図ることができました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
支出命令書の作成等を法令等に基づき審査し、適正かつ迅速な支払事務を行います。	審査において、常に担当者間での確認事項や情報共有の徹底を図りました。
所管室・課 会計管理室	
具体的取組	具体的な取組実績
審査の結果、書類不備等がある場合、各部署の担当者に対して助言・指導を行うことで、適正な出納事務を行います。	各課の事務処理に誤りや添付書類の不備などがあれば速やかに是正し、今後、繰り返すことがないよう助言・指導を行いました。
所管室・課 会計管理室	

総合評価・総括	全体の達成度
会計事務は業務範囲が広く、幅広い知識が必要です。そのため、日々の自己研鑽や近隣市事務担当者との情報共有により審査能力の向上が図られ、各課の誤りや不備のある事務処理に対し、必要な助言・指導を行うことで、より一層適正かつ迅速な出納事務の執行に努めました。	A 達成

今後検討すべきこと
各部署の出納事務が適正かつ迅速に処理できるよう作成した、「財務会計システムマニュアル」や「支出伝票に必要な添付書類一覧」について、その周知と活用の普及に努めてまいります。

部(局)名	会計管理室
-------	-------

重点目標 2	公金の適正管理及び運用
--------	-------------

今年度の達成目標
公金の管理及び運用については、安全確実かつ有利な方法により管理し、効率的な資金運用を行います。



達成状況	達成度
金融機関への利率照会による競争原理の活用により、確実かつ効率的な運用を行いました。	A 達成



具体的取組
歳計現金において収支見込を把握し、余裕資金が生じる場合には、安全確実かつ有利な方法で運用します。



具体的な取組実績
日々の収支状況と過去の収支実績を踏まえ収支予測を立て、歳計現金の運用可能額を見据えながら、余裕資金を用いて定期預金での運用を行いました。



所管室・課	会計管理室
具体的取組	
基金については、歳計現金への繰替運用と基金を一括して安全確実かつ有利な方法で運用します。	
所管室・課	会計管理室



具体的な取組実績
歳計現金への繰替え運用と一部の基金を除いた基金を一括して、定期預金での運用を行いました。

総合評価・総括
公金については、臨時の事業支出の支払予定等を含め、歳計現金の運用可能額を的確に見極めつつ、低金利の中ではありますが、安全かつ確実な定期預金の方法で適正な管理、運用を行うことができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
公金の運用については、安全性を最優先としながらも、少しでもより効率的な運用ができるよう活用方法の情報収集に努めてまいります。

部(局)名	会計管理室
-------	-------

重点目標 3	指定金融機関等の検査の実施
--------	---------------

今年度の達成目標
指定金融機関等に対して、公金の収納や支払等の事務が適正に処理されているかを確認します。



達成状況	達成度
指定金融機関等に対して検査を実施し、公金の収納や支払等が適正に事務処理されていることを確認できました。	A 達成



具体的取組
指定金融機関及び指定代理金融機関については、会計管理室職員が出向き、公金収納等の関係帳票の検査を行います。



具体的な取組実績
指定金融機関については、検査対象期間を9月として、11月16日に会計管理室職員による実地検査を行いました。また、指定代理金融機関については、検査対象期間を9月とした検査書類の提出を求め、11月に書類審査及び電話での聴き取り検査を行いました。



所管室・課	会計管理室
具体的取組	
収納代理金融機関については、会計管理室への検査対象書類の提出を求め、検査を行います。	
所管室・課	会計管理室



具体的な取組実績
検査対象期間を9月とした検査書類の提出を求め、11月に書類審査及び電話での聴き取り検査を行いました。

総合評価・総括
指定金融機関については実地検査を、指定代理金融機関等については書類審査及び電話での聴き取り検査を実施し、対象金融機関すべてにおいて適正に事務処理されていることが確認できました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
対象金融機関への検査方法や検査内容のさらなる充実に向け検討を行います。

# 令和4年度 上下水道部の運営方針

部	上下水道部	部長	瀬田 友之
理事	石垣 好啓		

## 【基本方針】

上下水道部では、「安全で安心して健やかに暮らせるまち」、「利便性と快適性の高い住みよいまち」を目標に事業を推進します。

下水道事業では、公共下水道整備第8次五箇年計画及びストックマネジメント計画に基づき、

- ① 浸水対策として、老朽化が進む雨水ポンプ場施設の改築・更新工事を進めます。
- ② 公共下水道の整備を進めるとともに公共下水道計画区域外での市町村設置型浄化槽の整備を引き続き進めます。
- ③ 持続的・効率的な下水道サービスの提供のため、迅速・適切な維持管理を目指して包括的民間業務委託の導入に取り組めます。

水道事業では、柏原市水道事業ビジョン2019～2028の理想像である安全・強靱・持続の実現を目指し、

- ④ 老朽化した施設を更新し、水道システムの強靱化を進めます。
- ⑤ 将来にわたり安定した事業運営ができるよう運営基盤の強化に取り組めます。

## 【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	浸水被害の防止					C
2	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	下水道	令和4年度 達成状況
	生活排水の適正な処理					A
3	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	下水道	令和4年度 達成状況
	持続的・効率的な下水道サービスの提供					A
4	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	上水道	令和4年度 達成状況
	水道システムの強靱化					B
5	目標	(3)	利便性と快適性の高い住みよいまち	分野	上水道	令和4年度 達成状況
	安定的な事業運営					A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	上下水道部
-------	-------

重点目標 1	浸水被害の防止
--------	---------

今年度の達成目標
ストックマネジメント計画に基づき雨水ポンプ場の設備の改築・更新工事を進め施設の信頼性・機能性の向上を図ります。



達成状況	達成度
国分第一雨水ポンプ場の更新工事は完了しました。完成が遅れている国分第二雨水ポンプ場のポンプ・電気設備の更新工事は、電子部品の調達に目途が立ち、令和5年9月までの完成を目途に鋭意施工しています。	C 一部達成

今年度の達成目標
ストックマネジメント計画に基づき市内4箇所の雨水ポンプ場全てを遠方監視するシステムの構築を進めます。



達成状況	達成度
1号ポンプの遠方監視制御装置の整備は完了しました。2号ポンプの装置の整備については、電子部品の調達に目途が立ち、令和5年9月までの完成を目途に鋭意施工しています。	C 一部達成



具体的取組
老朽化したポンプ・電気設備の更新を行います。



具体的な取組実績
国分第一雨水ポンプ場の沈砂池施設、ポンプ施設の更新、国分第二雨水ポンプ場のポンプ・電気設備の更新に取り組みましたが、半導体不足の影響から更新機器に必要な電子部品の調達に遅れが生じ、全ての更新が年度内に完成できなかった。

所管室・課	下水工務課
具体的取組	
片山雨水ポンプ場に遠方監視するため装置の整備を進めます。	
所管室・課	下水工務課



具体的な取組実績
国分第二雨水ポンプ場の1・2号ポンプを遠方監視制御する装置の整備を進めていましたが、半導体不足の影響から遠方監視装置に必要な電子部品の調達に遅れが生じ、年度内に完成できなかった。



総合評価・総括
今年度予定していた雨水ポンプ場設備の更新をすべて完了することはできませんでしたが、台風時の大雨や突発的な集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、計画的に雨水ポンプ場の設備機器の更新を進めています。

全体の達成度
C 一部達成

今後検討すべきこと
引き続き、ストックマネジメント計画に基づいて、老朽化した雨水ポンプ場設備の更新を進める他、多発する台風時の大雨や突発的な集中豪雨等に対し、日常点検、年次点検に努め、設備機器の状態を把握し、予防的維持管理に取り組みます。



部(局)名	上下水道部
-------	-------

重点目標 2	生活排水の適正な処理
--------	------------

今年度の達成目標
公共下水道整備第8次五箇年計画に基づき汚水整備を行い、令和4年度末の人口普及率88.4%を目指します。



達成状況	達成度
整備面積が約1ha縮小となりましたが、令和4年度末の目標人口普及率88.4%を達成することができました。	A 達成



具体的取組	
約6haの汚水整備を行います。	
所管室・課	下水工務課



具体的な取組実績
安堂、高井田、旭ヶ丘、国分市場地区など合わせて約6haの整備を計画していましたが、現場状況等から一部路線を次年度以降の施工としたため、約5haの整備となりました。



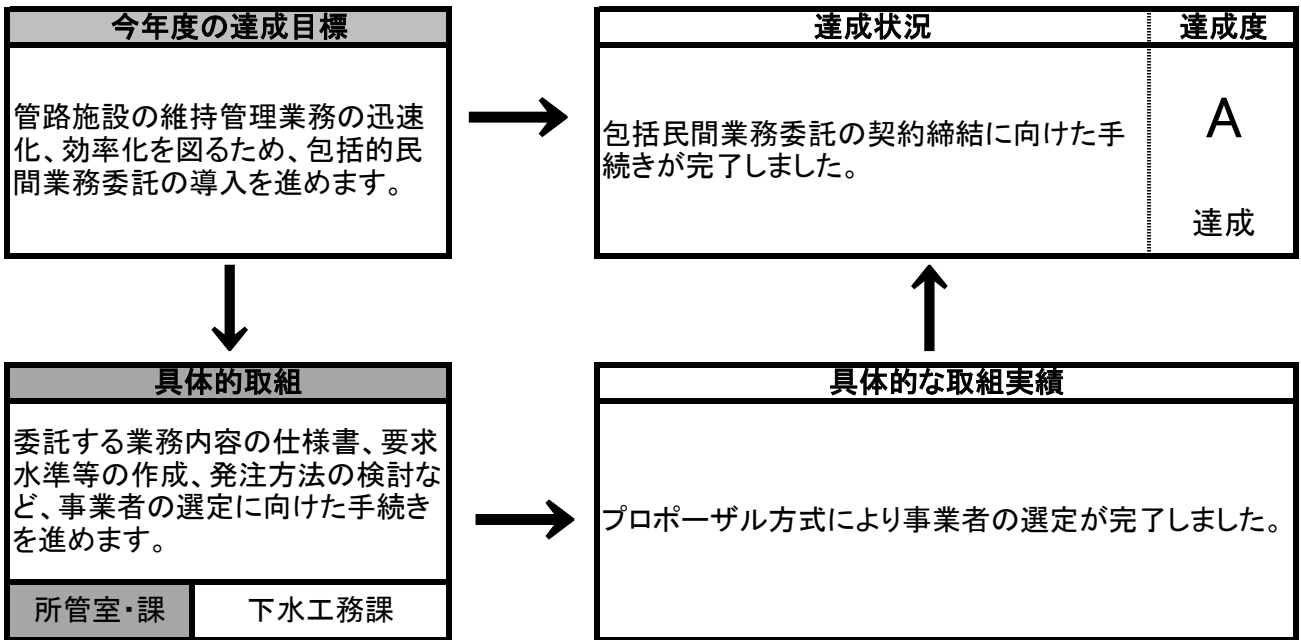
総合評価・総括
現場状況等から一部路線を次年度以降の施工としたため、当初計画から整備面積が約1ha縮小したものの、公共下水道整備第8次五箇年計画の目標値の人口普及率88.4%を達成することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
公共下水道整備第8次五箇年計画の達成に向けて着実に汚水整備を進めるため、現場状況等の精査を行います。

部(局)名	上下水道部
-------	-------

重点目標 3	持続的・効率的な下水道サービスの提供
--------	--------------------



総合評価・総括	全体の達成度
<p>包括的民間業務委託の事業者と契約に向けた協議を完了しており、令和5年5月までに契約締結、7月から業務を開始します。</p>	<p>A</p> <p>達成</p>

今後検討すべきこと
<p>包括管理業務を確実に機能させるため、発注者側、受注者側の両方がモニタリングを実施し、その結果を踏まえたPDCAサイクルにより業務改善を行います。</p>

部(局)名	上下水道部
-------	-------

重点目標 4	水道システムの強靱化
--------	------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
老朽化した機械設備や電気設備を更新し、3箇所の設備の信頼性向上を図ります。	1箇所の設備は更新し信頼性向上を図ることができましたが、残る2箇所は、半導体不足の影響で電子部品の調達が遅れ、未完成の状況です。未完成の2箇所については、令和6年3月までに完成する見込みです。	C 一部達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
老朽化した管路の更新、耐震化を進め、管路の耐震適合率46%を目指します。	令和4年度末で管路延長約259kmの内119kmが耐震化され、耐震適合率は予定通り約46%を達成できる見込みです。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
電動弁及び制御機器の更新を行います。	円明受水場の電動弁、玉手浄水場内の前処理・膜ろ過設備制御機器、鉄工団地ポンプ場の計装制御盤の更新に取り組みましたが、半導体不足の影響から電子部品の調達が難しくなり、年度内完成は円明受水場のみとなりました。
所管室・課 水道工務課	
具体的取組	具体的な取組実績
水道管約2.2kmを更新します。	老朽化した管路の更新は順調に進捗し、令和4年度末で約2.5kmの水道管路を整備することができました。
所管室・課 水道工務課	

総合評価・総括	全体の達成度
老朽化した機械・電気設備は一部更新が完了していないものの、設備故障による断水など市民生活への影響は発生しておらず、水道の安定供給を維持しています。今年度予定していた老朽化した管路は、更新することができました。また、この更新により、今年度の目標としていた耐震適合率約46%は達成することができました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
老朽化した管路や機械・電気設備の更新については、水道事業ビジョン(2019-2028)に基づき計画的に行うことを基本としつつ、各施設の老朽化の状態を把握し、更新の必要な箇所を適宜見極めながら引き続き取り組みます。

部(局)名	上下水道部
-------	-------

重点目標 5	安定的な事業運営
--------	----------

今年度の達成目標
漏水や設備異常の早期発見と修繕により、水の安定供給を維持します。



達成状況	達成度
管路の調査点検により、管路の漏水箇所と付帯設備の弁栓類の異常箇所を早期発見することができ、修繕を行ったことで、水の安定供給を維持することができました。	A 達成

今年度の達成目標
近隣団体との広域連携を進めるとともに、大阪広域水道企業団との統合について検討し方針を決定します。



達成状況	達成度
近隣団体と水道施設運転管理業務の共同発注を行いました。また、大阪広域水道企業団との統合に関する議案について、議決を得ることができました。	A 達成



具体的取組
国分地区を中心に漏水調査と水管橋・弁栓類の点検などを行うことにより、維持管理を行います。水管橋の目視できない部分は、カメラにより点検します。



具体的な取組実績
国分地区の153.6kmの漏水調査、水管橋22橋・弁栓類2561箇所の点検の他、市内68箇所の重要ポイントで管路常時監視を行い、その結果、85箇所の修繕や補修が必要な箇所を発見し、早期に処置を行いました。

所管室・課	水道工務課
具体的取組	
近隣団体との業務の共同発注及び大阪広域水道企業団と統合に向けた検討、協議を行います。	
所管室・課	経営総務課 水道工務課



具体的な取組実績
河内長野市、富田林市、羽曳野市及び大阪広域水道企業団と水道施設運転管理業務の共同発注を行い、契約を締結しました。また、大阪広域水道企業団と岸和田市・八尾市・富田林市・和泉市・柏原市・高石市・東大阪市との統合に向けた統合案がまとまり、市議会に統合に関する議案を提出しました。



総合評価・総括
国分地区の漏水調査と水管橋・弁栓類の点検の他、市内の重要ポイントで管路常時監視を行いました。その結果、市民生活に重大な影響を及ぼす前に漏水を発見し修繕することで、水道の安定供給を維持できました。また、広域連携については、近隣団体と業務の共同発注や、大阪広域水道企業団との統合に関する議案の議決を得ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
次年度は、柏原地区を中心に調査・点検等、維持管理の業務を実施します。大阪広域水道企業団との統合協議に関しては、令和7年度の統合に向け協議を継続します。

# 令和4年度 病院事務局の運営方針

局	病院事務局	局長	中川 拓也
---	-------	----	-------

## 【基本方針】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすため、良質な医療の提供に努めることに加え、新型コロナウイルス感染症患者さんの入院受け入れや発熱外来の運営、ワクチン接種など新型コロナウイルス感染症への対応に努めてまいります。  
また、地域包括ケアシステム構築の一端となる訪問看護事業の実施に向けた検討を進めてまいります。

## 【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和4年度 達成状況
	新型コロナウイルス感染症への対応					A
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和4年度 達成状況
	訪問看護事業の実施					A

## 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	病院事務局
-------	-------

重点目標 1	新型コロナウイルス感染症への対応
--------	------------------

今年度の達成目標
大阪府と協力し、地域医療の拠点として新型コロナウイルス感染症への対応にあたります。

達成状況	達成度
大阪府との連携のもと、1年間を通じて新型コロナウイルス感染症への対応に努めることができました。また、柏原市民及び当院かかりつけ患者さんを対象としたワクチン個別接種を必要に応じて実施しました。	A 達成

具体的取組	
新型コロナウイルス感染症が一定の収束を迎えるまでは、感染症患者さんの受入病床の確保や発熱外来の設置運営に取り組みます。	
所管室・課	医事総務課
具体的取組	
新型コロナウイルスワクチン接種を実施します。	
所管室・課	医事総務課

具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症患者等の入院受入 (年間を通じて受け入れ)
新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱者等に対する外来診療(年間を通じて実施)
具体的な取組実績
土曜日午前実施するワクチン個別接種 (年間実施日数 38日、接種者延べ4,789人)

総合評価・総括
新型コロナウイルス感染症の蔓延が3年に及ぶ中、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症への対応を優先した病院運営となりました。入院患者さんの受け入れ、発熱者に対する外来診療、ワクチン個別接種の実施など、地域の医療機関としての役割を果たすことができましたと考えています。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
新型コロナウイルス感染症が一定の収束を迎えるまでは、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を優先した病院運営に努めます。また、コロナウイルス感染症収束後を見据え、病院の経営改善に向けた方策について検討を行います。

部(局)名	病院事務局
-------	-------

重点目標 2	訪問看護事業の実施
--------	-----------

今年度の達成目標
訪問看護事業の実施

達成状況	達成度
目標を達成することができました。 (令和5年1月に訪問看護事業を開始)	A
	達成

具体的取組	
訪問看護事業所の年度内開設を 目標に人材確保、施設整備等必要 となる準備を進めてまいります。	
所管室・課	医事総務課

具体的な取組実績
訪問看護事業所での実務経験を有する職員(看護師)2 名を採用 院内に訪問看護ステーション事業所を設置

総合評価・総括
訪問看護事業所の開設にあたり必要となる人員(看護師)を確保するとともに設備基 準を整え、令和5年1月に訪問看護事業を開始しました。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
当院による訪問看護事業についての周知を積極的に行い、利用者の拡大に努めます。

# 令和4年度 教育部の運営方針

部	教育部	部長	福島 潔
教育監	中平 好美 (学校教育担当)		

## 【基本方針】

教育部では令和4年度に策定した「第2期柏原市教育振興基本計画」のもと、本市の教育力向上に向けた取組みを推進します。

学校教育におきましては、子どもたちの未来を切り拓く「生きる力」の育成に向け、幼小中一貫教育を軸にした学力・体力向上の取組みや豊かな心を育む教育活動を進めます。学力向上においてはICTを効果的に活用した授業づくりを推進し、子どもたちの「思考力・表現力・判断力」を育成します。

また、学びを支える支援体制を構築するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等をはじめとする専門人材を積極的に活用し、多様化する子どもたちへの教育支援に努めます。

安全で快適な教育環境の整備については、昨年度に引き続き市立小中学校のトイレ洋式化、体育館の空調設備設置に向けて取組みを進めます。

生涯学習においては、令和4年度から10年間の計画期間として策定した「柏原市生涯学習推進計画」に基づき、市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自主的・自発的に学習に取り組める環境の整備を進めるとともに、青少年の健全育成活動に努めます。なお、成人式については、令和4年度以降も「はたちの集い」として20歳を対象者として成人の日開催いたします。また市民がスポーツ活動を継続的に実践できる環境を作り出すことで、市民の健康、体力の維持増進に努めます。

更に市民が地域の歴史を学ぶ機会を多く創出することで、柏原市の歴史的・文化的資産の保護と継承を図るとともに、電子書籍の導入や専門講座を充実させることで一層市民の自主学習の機会を増やしてまいります。

## 【重点目標】

1	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	幼小中一貫教育の推進					B
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	学力・体力の向上					B
3	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	教育支援の充実					B
4	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和4年度 達成状況
	教育機会の均等と快適な教育環境の整備					A
5	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	生涯学習	令和4年度 達成状況
	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供					A
6	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	歴史・文化	令和4年度 達成状況
	文化財の保存、整備、活用					B

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)



部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 1	幼小中一貫教育の推進
--------	------------

今年度の達成目標
幼小中一貫教育の推進により、子どもたちが感じる校種間の段差を更に軽減させます。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校は楽しいですか」に「楽しい」と答えた割合(小学校1年生)と、生活アンケート「学校は楽しいですか」に「楽しい」と答えた割合(中学校1年生)は、昨年度と概ね同じ傾向でした。	B 概ね達成

具体的取組	
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置します。	
所管室・課	指導課
具体的取組	
わくわくスタート事業や幼小中一貫教育コーディネーター会議を実施します。	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置しました。専門性を生かして小学校における外国語の指導を担うことにより、小中の連携が進み、子どもたちは校種間の段差を乗り越えやすくなっています。
具体的な取組実績
わくわくスタート担当者会を開催し、各校での取組内容を集約して、共有しました。また、こども施設課と連携し、就学前施設と小学校との交流活動を実施しました。幼小中一貫教育コーディネーター会議を開催し、各校の取組について共有しました。

総合評価・総括
就学前施設と小学校の各担当者が集まり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と小学校のつながり」をテーマに協議することで、互いのカリキュラムにおいて幼小の連続性を持たせることができました。また、今年度は「架け橋期カリキュラム委員会」を通して、こども施設課と連携することができました。幼小中一貫教育コーディネーター会議においては、学力の向上、生活指導上の課題等について協議することで、中学校区における特色ある教育の推進につながりました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
各校区の一貫教育がより効果的なものにブラッシュアップされるよう、取り組みます。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 2	学力・体力の向上
--------	----------

今年度の達成目標
ICTを活用した授業改善に取り組み、学力の向上を図ります。
今年度の達成目標
体育の授業や部活動の充実により、体力の向上を図ります。



達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、全国学力・学習状況調査における対全国比(全国平均正答率を1とする)において、小学校は0.99、中学校は1.01という結果となりました。一方、授業中でのICT活用は、全国や府と比較して少ないことがわかりました。	B 概ね達成
達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における所定種目の対全国比は、中学生(2年生男女平均)は下回りましたが、小学生(5年生男女平均)が前年度実施時の値を3.9%上回りました。	B 概ね達成



具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進委員会を年間10回実施します。</li> <li>・ICT支援員、学校司書及び外国人英語指導助手(ALT)を全校に配置します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課
具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、広く市民に周知します。</li> <li>・部活動補助指導員を各中学校に配置します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課



具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期柏原市学力向上計画を策定し、学力向上推進委員会の実施(年間10回)やICTを活用した効果的な授業づくりについての研究が進みました。</li> <li>・ICT支援員を配置し、教員の授業づくりの支援や機器のトラブルに対応しました。</li> <li>・学校司書を全小中学校に配置し活用したことにより、図書室の「学習・情報センター」的機能が充実しました。</li> <li>・ALTを全校に配置し、学んだ英語を実際に活用することを通してコミュニケーション能力を育成しました。</li> </ul>	
具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果分析を市のホームページ上に掲載することにより、学校だけでなく広く市民にむけて体力の状況を周知しました。</li> <li>・専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を部活動補助指導員として各中学校に配置することにより、専門の競技とは異なる部を顧問する教員を支援し、生徒への指導を充実させました。</li> </ul>	

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業改善や学力向上に向けた取組については、「思考力・判断力・表現力」の育成をテーマに、学力向上推進委員会を中心に進めてきました。取組の成果を生かし、各学校でも取り組んでいく必要があります。</li> <li>・体力については、全国と比べ週の運動総時間数が多いことがわかりました。体育の授業はもちろん、それ以外にも体を動かす活動の時間や機会の確保が重要だと考えます。</li> </ul>

全体の達成度
B
概ね達成

今後検討すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考力・判断力・表現力」を軸にした確かな学力の育成をめざし、教員の授業力を向上させる研修を充実させていきます。また、ICTを有効に活用した「分かる授業づくり」を、より一層推進していきます。</li> <li>・体力向上に向け、子どもたちが楽しんで自ら体を動かそうとする教育活動や取組を進めます。</li> </ul>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 3	教育支援の充実
--------	---------

今年度の達成目標
子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう学校の教育支援を充実させます。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校の中に相談できる大人はいますか」に「いる」と答えた全体の割合は、昨年度に比べて3%低下しましたが、中学2年生と3年生については、経年比較でみると上昇しました。	B 概ね達成

具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを全小学校及び教育研究所に配置します。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを2名増員し、計4名を拠点校に配置します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課
具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育支援指導員や日本語指導員を学校のニーズに応じて配置します。</li> <li>・支援教育コーディネーター会議及び研修会を実施します。</li> </ul>	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを3名配置することにより、相談体制を整え、悩みや不安を抱えている児童・生徒及び保護者を支援しました。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを増員し4名配置することにより、関係機関との連携して児童・生徒の様々な環境に働きかける支援を行いました。</li> <li>・両者がそれぞれの専門性を生かし、学校課題の解決・改善を図りました。</li> </ul>
具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力や地元の大学との連携を生かし、学生等のボランティアを学校教育支援指導員として学校園に派遣しました。</li> <li>・日本語指導員を増員し、巡回型の日本語指導を行い、日常生活に支障のないよう支援しました。</li> <li>・支援教育コーディネーター研修会を開催し、障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じた適切な指導、支援につなげました。</li> </ul>

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの全小学校への配置により、心理面での不安の解消や、ニーズに応じた発達検査にスムーズにつなげることができました。今後も早期対応をより一層進めていきたいと考えています。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを4名配置したことに伴い、専門機関との連携が一層進みました。子どもを取り巻く環境の改善につなげることができました。</li> </ul>

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
スクールソーシャルワーカーの全中学校区配置を進め、スクールカウンセラーとともに学校での効果的な活用を促進してまいります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 4	教育機会の均等と快適な教育環境の整備
--------	--------------------

今年度の達成目標
小中一貫教育を推進し、教育効果を高める取組みの研究を進めます。



達成状況	達成度
第2期柏原市教育振興基本計画をもとに、新たな「柏原市小・中適正規模・適正配置基本方針」を策定しました。	A 達成

今年度の達成目標
快適な教育環境の整備に取り組みます。



達成状況	達成度
快適な教育環境の整備のため、トイレの洋式化、学校体育館空調設備の設置を進めました。	A 達成



具体的取組
答申及び、パブリックコメントに基づき、柏原市小・中学校適正規模・適正配置基本方針を作成します。



具体的な取組実績
大学教授や公共団体の代表、小中学校代表などから構成される審議会を開催し、審議を重ね、答申を得ました。またパブリックコメントを活かし、基本方針を策定しました。

所管室・課	学務課
具体的取組	
昨年度に引き続き、トイレの洋式化と学校体育館への空調設置を進めます。	
所管室・課	教育総務課



具体的な取組実績
国分中学校のトイレ洋式化工事を行いました。また、国分中学校、堅下北中学校の学校体育館に空調設備を設置しました。



総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会の開催、パブリックコメントの集約を行い、概ね5年間の「柏原市小・中適正規模・適正配置基本方針」の策定することで、教育効果を高める取組の研究が進みました。</li> <li>・令和4年度の目標として掲げた学校トイレ洋式化工事と学校体育館の空調設備設置について、計画どおり該当する学校の工事を完了し、目標を達成することができました。</li> </ul>

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の方針策定にむけ、引き続き児童生徒数の推移予測を行います。</li> <li>・学校トイレの洋式化工事と学校体育館の空調設備の設置工事を継続的に行い、その他の学校設備の整備や修繕に関しても教育環境の安全を守るため、優先順位をつけて行っていきます。</li> </ul>

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 5	多様な学習機会と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供
--------	--------------------------

今年度の達成目標
子どもから高齢者まで気軽に利用できる生涯学習の場を充実させるとともに、図書館の利用人数の増加に努めます。



達成状況	達成度
各種イベント等の実施、電子図書館の運用を開始した結果、図書館利用者が増加しました。	A 達成

今年度の達成目標
市民意識調査の「スポーツ振興」の満足度を高めます。



達成状況	達成度
「柏原シティキャンパスマラソン」、「スポーツフェスティバルin柏原」を3年ぶりに開催したことで、「スポーツ振興」を含む生涯学習の項目において市民意識調査の満足度が前回と比較して上昇しました。	A 達成



具体的取組
公民館では、春季と秋季に分け1年を通して多様な講座を開催するとともに、図書館では電子書籍を新たに導入し、文化センターの利用人数を増加させます。



具体的な取組実績
公民館では多様な市民ニーズやライフスタイルに合わせてご利用いただけるよう、土日や祝日、また夜間においても、様々な講座を開催しました。図書館ではボランティア団体とも連携し、「としょかんマルシェ」や市民総合フェスティバルでのイベント等を開催し、来館者の増加に努めるとともに、より利用者の利便性を高めるため、令和4年10月より柏原市電子図書館の運用を開始しました。



所管室・課	公民館・図書館
具体的取組	
堅下北スポーツ広場等のスポーツ施設の管理運営、柏原シティキャンパスマラソン等の事業の充実により市民が身近にスポーツに親しめる環境を整えます。	
所管室・課	スポーツ推進課



具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら管理運営に努めました。また、「柏原シティキャンパスマラソン」については3年ぶりに開催し、市内外より436人の参加がありました。その他「スポーツフェスティバルin柏原」についても3年ぶりに開催し、延べ約1,000人の来場があり、各種スポーツを体験していただくなどスポーツに親しめる環境づくりに努めました。

総合評価・総括
公民館、図書館へ来館していただくため、新型コロナウイルス感染防止に対応しながら各種講座やイベント等を開催しました。また、電子図書館の開始により、視聴覚障害者の方への読書環境の整備に努めました。生涯スポーツの提供として、柏原シティキャンパスマラソンを始めとしたスポーツ行事についても、3年ぶりに開催し、多くの方に参加いただいたことで改めてスポーツ振興の重要性を認識することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
引き続き図書館利用者及び貸出冊数の増加を図るため、より効果的な方法の検討を進めていきます。またスポーツ振興事業においても、幅広い年代が楽しんで参加できるよう、事業内容の見直しも含めて検討していく必要があります。

部(局)名	教育部
-------	-----

重点目標 6	文化財の保存、整備、活用
--------	--------------

今年度の達成目標
史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理及び整備に努めます。



達成状況	達成度
定期的な点検、調査、清掃等、市内史跡の維持管理や整備を行うとともに、清浄泉については斜面保護対策工事、鳥坂寺跡については草刈り等の実施により、文化財の適切な保全を図ることができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
文化財を公開・活用し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供します。



達成状況	達成度
青谷谷尻地蔵尊の説明板設置のほか、企画展や講演会、オンラインによる文化財の紹介を行うことで、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供することができました。	A 達成



具体的取組
史跡清浄泉の斜面保護対策事業を実施します。また史跡鳥坂寺跡について、遺構の劣化防止対策を行います。



具体的な取組実績
史跡清浄泉斜面保護対策工事を11月より実施しています。史跡鳥坂寺跡については、草刈を行い遺構の維持管理を行いました。

所管室・課	文化財課
具体的取組	
文化財説明板の設置、改修を順次行います。	
所管室・課	文化財課



具体的な取組実績
文化財説明板1基を製作し、設置しました。

総合評価・総括
史跡などの維持管理については、点検や調査、草刈り等を実施しましたが、史跡の整備については、検討するための委員会を開催できないなど、取組みがやや遅延しております。史跡清浄泉斜面保護対策については、工事に着手しました。また、文化財の活用については、様々な企画展や講演会等を催し、多くの方に資料館へ足を運んでいただくことができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
従来からの取組については概ね達成できており、文化財を活用していくための整備や情報発信などについても一定の成果はあるものの、更なる文化財の活用に向けて、幅広い世代を取り込むことができるような、新たな手法の導入などを検討していきます。